





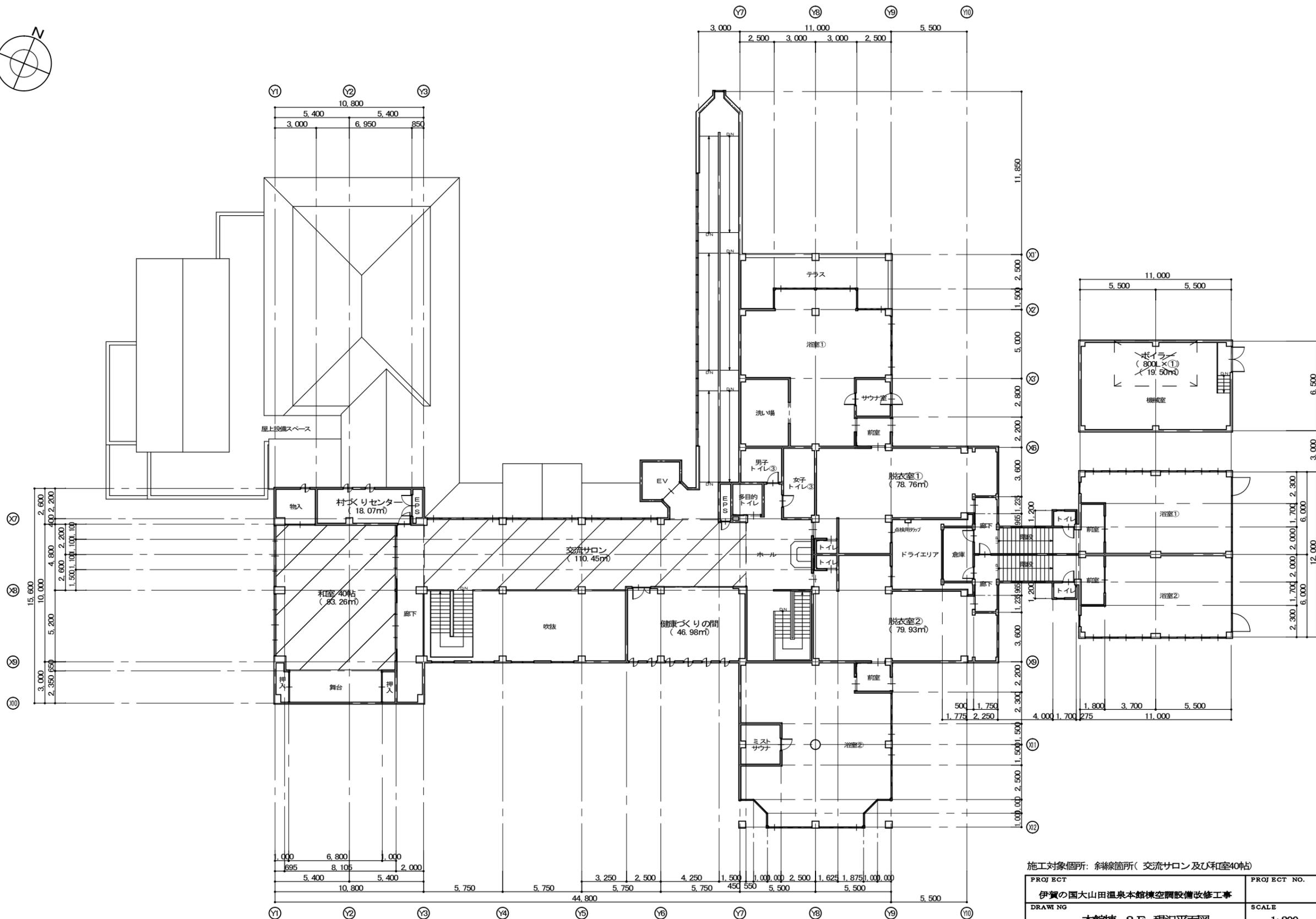


11	カーペット	敷き織じゅうたん (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)			
		種別	バイル形状	帯電性	品質の程度
		・A種 ・B種 ・C種	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	※人体耐電圧 3KV以下	
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		タフテッドカーペット (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)			
		バイル形状・カット	バイル長さ(mm)	帯電性	工法 品質の程度
		・カットバイル ・ループバイル ・べしループ併用		※人体耐電圧 3KV以下	※全面接着工法 ・ゲリッパ-工法
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		ニードルパンチカーペット (6.9.2)(d)(2)			
		厚さ(mm)	帯電性	備考	
	※人体耐電圧3KV以下				
タイルカーペット (6.9.2)(表6.9.2)					
バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω) 品質の程度		
・カットバイル ※ループバイル	※500×500	※6.5	・適用しない		
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
敷き方 (6.9.3)(d)(2)					
平場	※市松敷き	・模様流し			
階段部分	・市松敷き	※模様流し			
せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2)(表6.13.1)					
12	せっこうボード、その他ボード及び合板張り	名称	種類	規格、区分等	厚さ(mm)
		○せっこうボード(GB-R)			壁 ※9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・15.0(不燃)
		天井			※9.5(準不燃) ・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
		・シーリングせっこうボード(GB-S)			・12.5(不燃)
		・強化せっこうボード(GB-F)			※12.5(準不燃)
		・せっこうボード(GB-L)			・12.5(不燃)
		・不燃積層せっこうボード(GB-NC)	模様なし		※9.5(不燃)
		・化粧せっこうボード(GB-D)	・トラバーチン		※9.5(不燃)
		・木目模様			※9.5(準不燃)・12.5(不燃)
		・吸音材	・吸音材	1号	・1.2
・ガラス繊維吸音材(GB-B)	2号	3.2K	・2.5ガラスクロス包		
○吸音材	内部用	普通	○9.0(不燃)・12.0		
○吸音材	軒天用	普通	・9.0(不燃)・12.0(不燃)		
○吸音材	軒天用	普通	・12.0(不燃)		
○繊維強化セメント	0.8けい酸添加板(0.8KF)		※6.0		
○天然木化粧合板	※既設合板 近似種	化粧単板	※0.3未満		
○特殊加工	※ラワン	※9.0			
○防水ベニヤ					
○シナベニヤ	※1類(水廻り)	※5.5・9.0(体育館)			
○直仕上(塗装他)	※2類(一般部)	・有孔(寒砂裏貼品)			
○ラワンベニヤ	※1類(水廻り)	※5.5・12.0			
○パーティクルボード	※2類(一般部)				
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの発散量					
※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆					
遮音シール材 (6.13.2)(h)					
・適用する(・アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない					

13	壁紙張り	ホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (6.14.2)				
		施工箇所	品質の程度	防火種別		
				※1-1 ・1-2 ・5-1		
				・1-1 ※1-2 ・5-1		
				・1-1 ・1-2 ※5-1		
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。				
		既成目地材 (6.15.3)				
		・使用する(形状)				
		伸縮調整目地 (6.16.2)				
		位置・図示				
タイルの種類 (6.16.3)						
施工箇所	形状・寸法(mm)	きじ	うねぐすり	役物	色	品質の程度
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。						
試験張り、見本焼き等 (6.16.3)(a)(3)						
試験張り ・行う ※行わない						
見本焼き ・行う ※行わない						
工法 (6.16.1)(表6.16.6)(表6.16.7)						
・積上げ張り						
・壁タイル接着剤張り						
16	断熱材	ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量				
		※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆				
		断熱材打込み工法 (9.5.2)				
		種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所	
		・ビス法※リフレフォーム				
		・押出法※リフレフォーム	・保温板2種b	・2.5		
			・保温板3種b	・2.5		
		・緩質ウレタンフォーム				
		・ポリウレタンフォーム				
		上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。				
断熱材現場発泡工法 (9.5.3)						
難燃性	厚さ(mm)	施工箇所				
・2級	・2.5	※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所				
・3級						
上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。						
17	接着剤	壁紙施工用でん粉系接着剤、UV樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量				
		※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆				
		7 塗装改修工事				
		1 材料				
		建物内部に使用するUV樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量				
		※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (7.1.3)(a)				
		※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)				
		・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)				
		種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)				
		下地	種別			
・木部	・RA種 ※RB種 ・RC種					
・鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種					
・亜鉛めっき面	・RA種 ※RB種 ・RC種					
・モルタル面、プラスター面	・RA種 ※RB種 ・RC種					
・コンクリート、ALCパネル面	・RA種 ※RB種 ・RC種					
・コンクリート、押出成形セメント板面	・RA種 ※RB種 ・RC種					
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種 ・RC種					
※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー						
塗料種別 (7.3.2)(表7.3.1)						
鉄鋼面錆止め塗料 ※A種(屋外、屋内) ・B種(屋内) ・C種(屋内)						
JIS K 5625 JIS K 5621 JFMS-21						
錆止め塗料塗り種別 (7.3.3)(表7.3.3~7.3.4)						
鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種						
亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 ※C種						

4	合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	塗料種別 ※1種 (7.4.2)			
		種別 (7.4.3~7.4.5)(表7.4.1~7.4.3)			
		下地	種別		
		・木部	・A種 ※B種 ・C種		
		・鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種		
		・亜鉛めっき面	・A種 ・B種 ・C種		
		5 フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)			
		種別 (7.5.2~7.5.3)(表7.5.1~7.5.2)			
		下地	種別		
		・木部	・A種 ※B種 ・C種		
・鉄鋼面及び亜鉛めっき面	・A種 ※B種 ・C種				
6 アクリル樹脂系非水分散形塗料					
種別 (7.6.2)(表7.6.1)					
種別 ・A種 ※B種					
7 アクリル樹脂エナメル塗り(AE)					
種別 (7.7.2)(表7.7.1)					
種別 ・A種 ※B種 ・C種 (7.7.3)(表7.7.1)					
8 2液形リキッドエナメル塗り(2-UE)					
種別 (7.8.2~7.8.4)(表7.8.1~7.8.3)					
鉄鋼面 ※A種 ・B種					
亜鉛めっき面 ※A種 ・B種					
コンクリート及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種					
9 7判リソコ樹脂エナメル塗り(2-ASE)					
種別 (7.9.2~7.9.4)(表7.9.1~7.9.3)					
鉄鋼面 ・A種 ・B種					
亜鉛めっき面 ・A種 ・B種					
コンクリート及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種					
10 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り(2-FUE)					
種別 (7.10.2~7.10.4)(表7.10.1~7.10.3)					
鉄鋼面 ・A種 ・B種					
亜鉛めっき面 ・A種 ・B種					
コンクリート及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種					
11 つや有合成樹脂エナメル塗り(EP-G)					
種別 ・A種 ※B種 ・C種 (7.11.2)(表7.11.1)					
しみ止め ※下塗りに先立ち水性シーラー処理を行う(屋内 鉄部 程度 木部 程度)					
12 合成樹脂エナメル塗り(EP)					
種別 ・A種 ※B種 ・C種 (7.12.2)(表7.12.1)					
しみ止め ※下塗りに先立ち水性シーラー処理を行う(屋内 RC、モルタル、ボード面等 程度)					
13 多彩模様塗料塗り(EP-M)					
種別 (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.3)					
塗料塗り					
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、木部					
鉄鋼面及び亜鉛めっき面 ・A種 ※B種					
14 合成樹脂模様塗料塗り(EP-T)					
種別 (7.14.2)(表7.14.1)					
・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種					
15 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)					
種別 (7.15.2)(表7.15.1)					
木部 ・A種 ※B種 ・既設床面が「掛けのうえ、3回塗り」※無黄変型水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内床 程度)					
16 リソコ塗り(CL)					
種別 (7.16.2)(表7.16.1)					
木部 ・A種 ※B種					
17 木材心塗り(OS)					
種別 (7.17.2)(表7.17.1)					
木部					
18 屋内水系塗料					
種別(既存塗膜がSOP、VP塗等をEP-G塗に塗替える場合) (7.18.2)					
木部 ・A種 ※B種 ・C種 (表7.18.1)					
鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 (表7.18.2)					
その他 ※RC、モルタル、石膏ボード面下地等の塗替え及び新規(※11節 ※12節 ※14節)を適用とする					
19 水性アクリル・水性					
種別					
木部 汚れ・付着物除去のうえ、水性アクリル1回、水性ウレタン3回塗り					
※顔料系木部着色材(屋内外 程度)					
※無黄変型水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内外 程度)					
20 打放し保護材					
・塗布 2回(程度)					

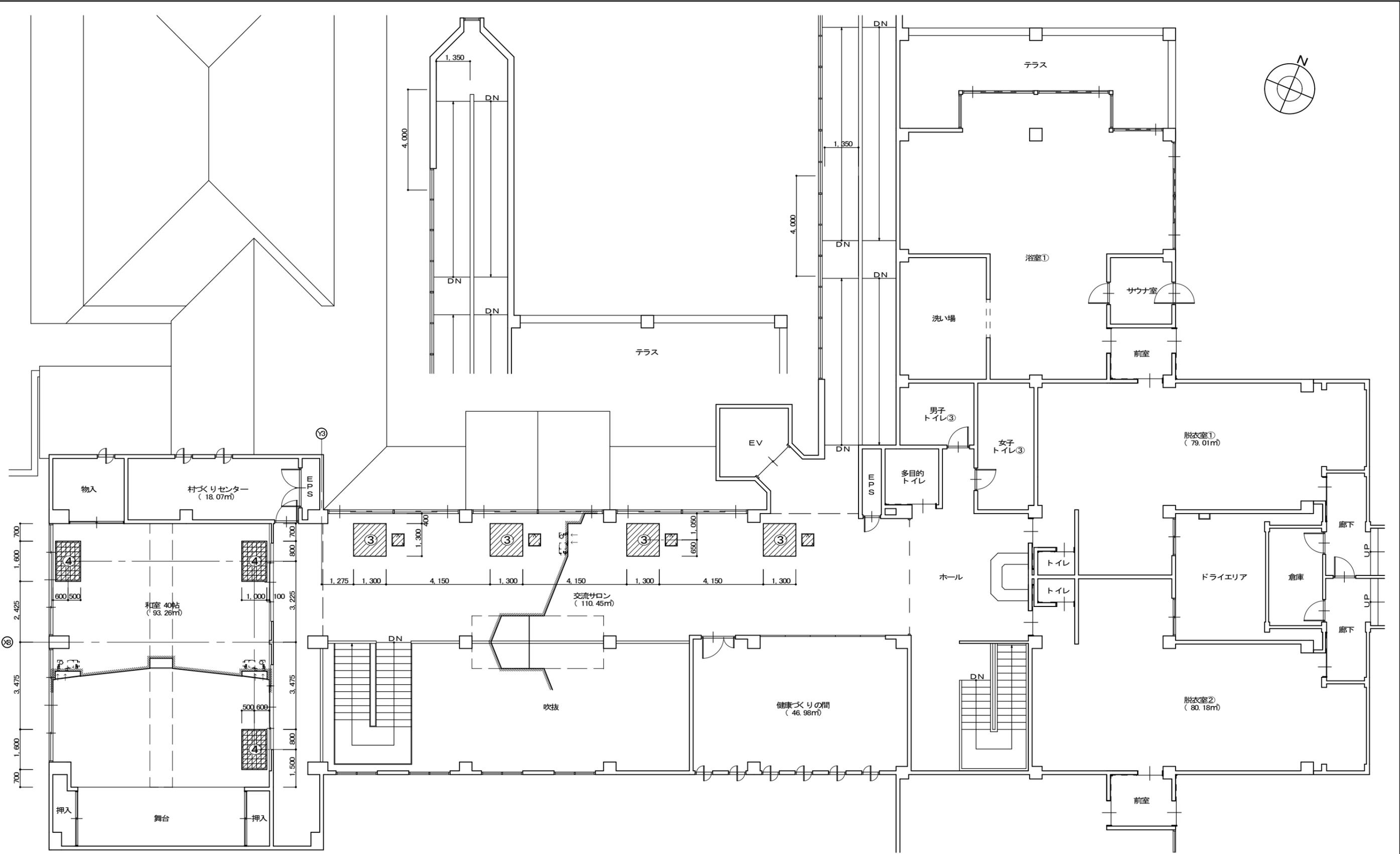
8	金 属 工 事	ステンレスの表面仕上げ (8.1)			
		種 類	施工箇所		
		※HL程度	見え掛かり全て		
		・No.2B程度			
		・鏡面仕上げ			
		9 舗 装 工 事			
		1 盛り土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (9.1)		
		2 遮断層及び凍上抑制層の材料	・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 (9.2) ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切り込み砂利 ・砂		
		3 路床安定処理	※添加材料による安定処理種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/ (目標CBR ※3以上 )		
		4 路床土の支持力比試験	※行方(※活した土 ・ 乱さない土) (9.4)		
5 路床締め度試験	※行方 (9.5)				
6 路盤材料	※再生クラッシュラン(RC-40) クラッシュラン(C-40)又はクラッシュランスラグ(CS-40) 透水性アスファルト 舗装にもちいる場合は透水性の高いもの (9.6)				
7 アスファルト 舗 装					
舗装の種類		車道部の基層	カラー舗装の種類		
※アスファルト 舗装		※無し	※無色骨材混入加熱アスファルト 混合物		
・カラー舗装		※無し	・有		
カラー舗装の着色骨材		・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)		
アスファルト		※再生アスファルト	・ストレートアスファルト		
加熱アスファルト 混合物の種類 (9.7.2)					
区分		※一般地域	・寒冷地域		
表層		※粗粒度アスファルト 混合物(13)	※細粒度アスファルト 混合物(13F)		
基層		※粗粒度アスファルト 混合物(20)	※細粒度ギャップアスファルト 混合物(13F)		
シールコート		※行かない	・行方(施工範囲) (9.7.3)		
アスファルト 混合物の抽出試験		※行かない	・行方 (9.7.4)		
10	雑 工 事	PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			
		DRAWING 特記仕様書④			
		APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
		DRAWING NO. A-4			



2F 平面図 1:200

施工対象箇所: 斜線箇所 (交流サロン及び和室40帖)

PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館横空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 本館附棟 2F 現況平面図			SCALE 1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. A-5

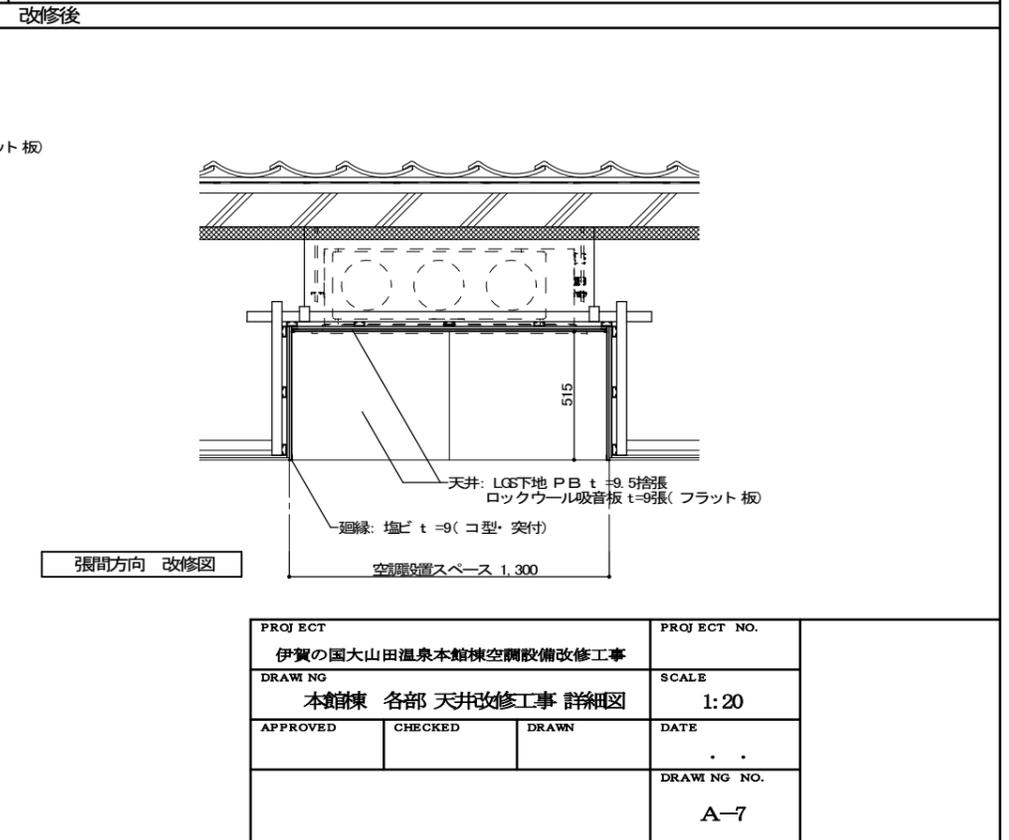
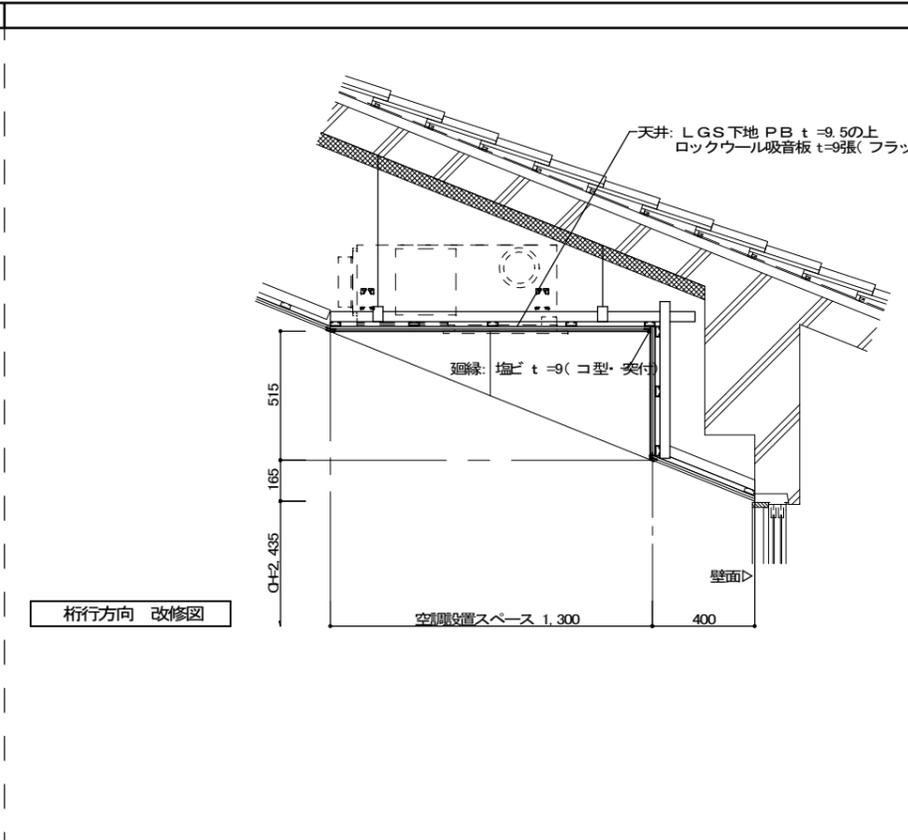
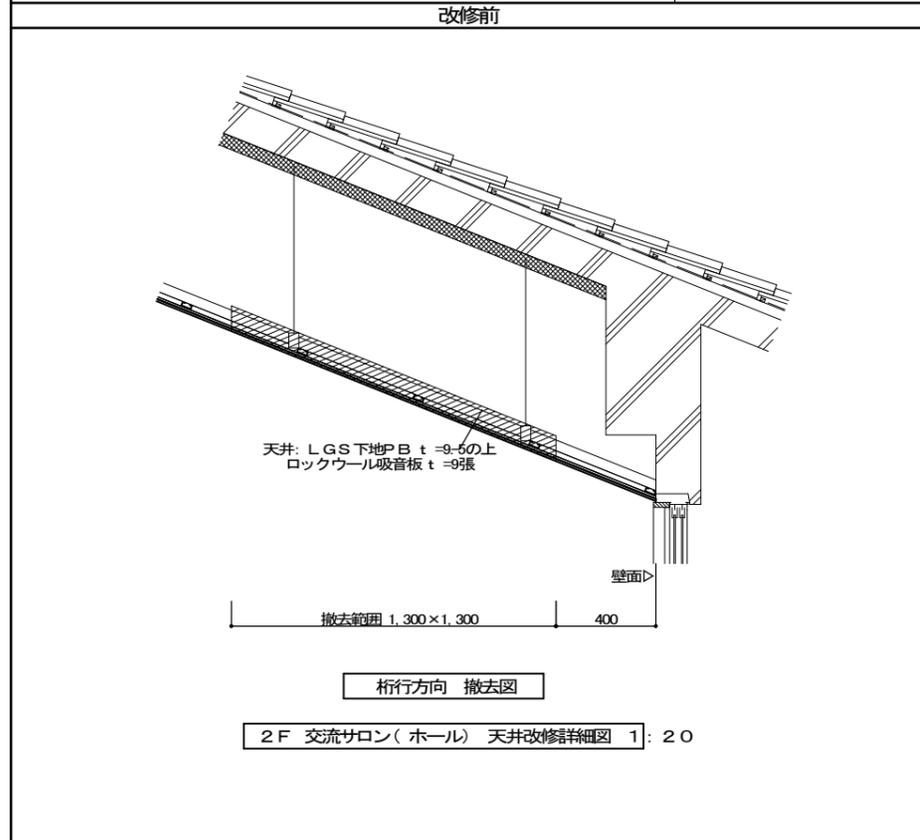
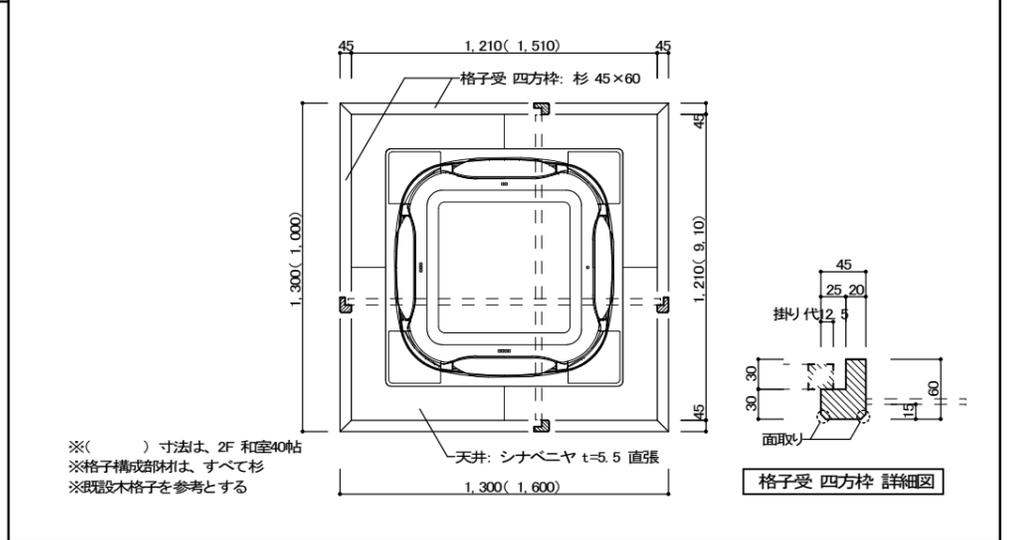
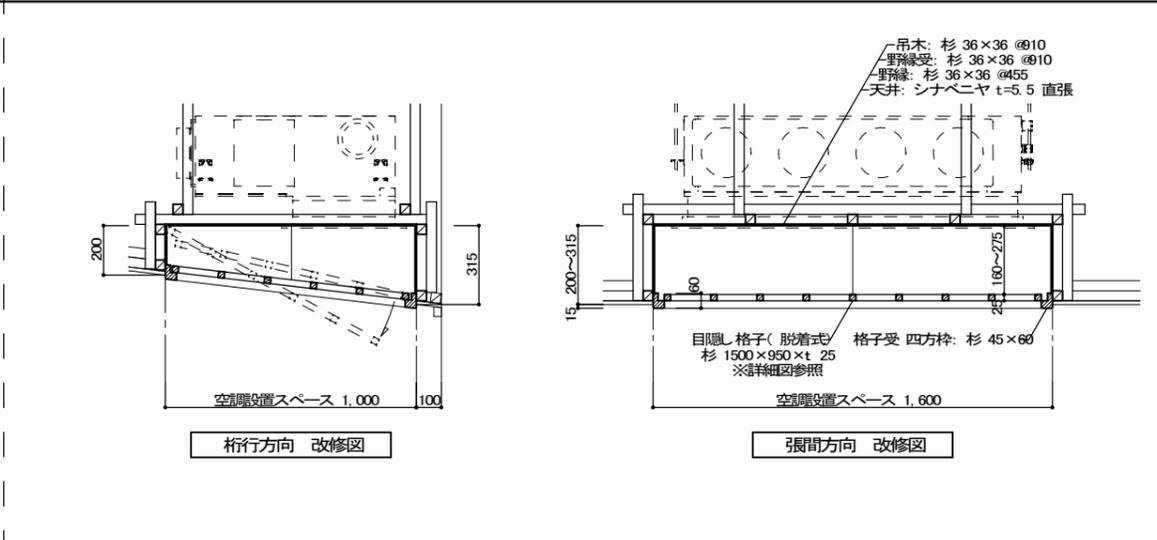
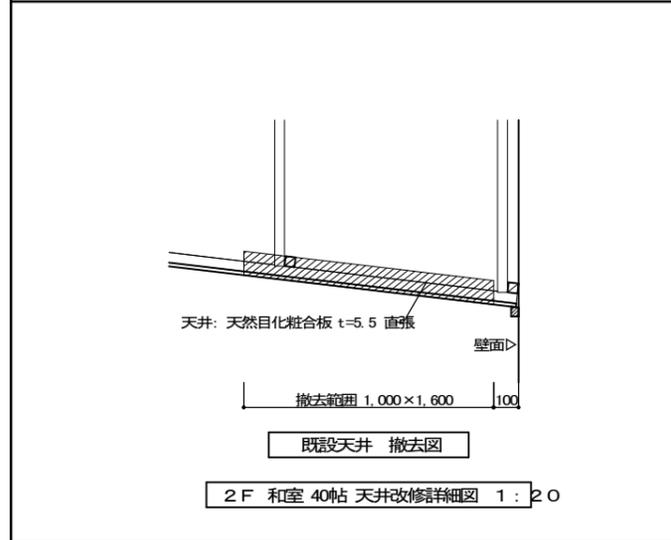
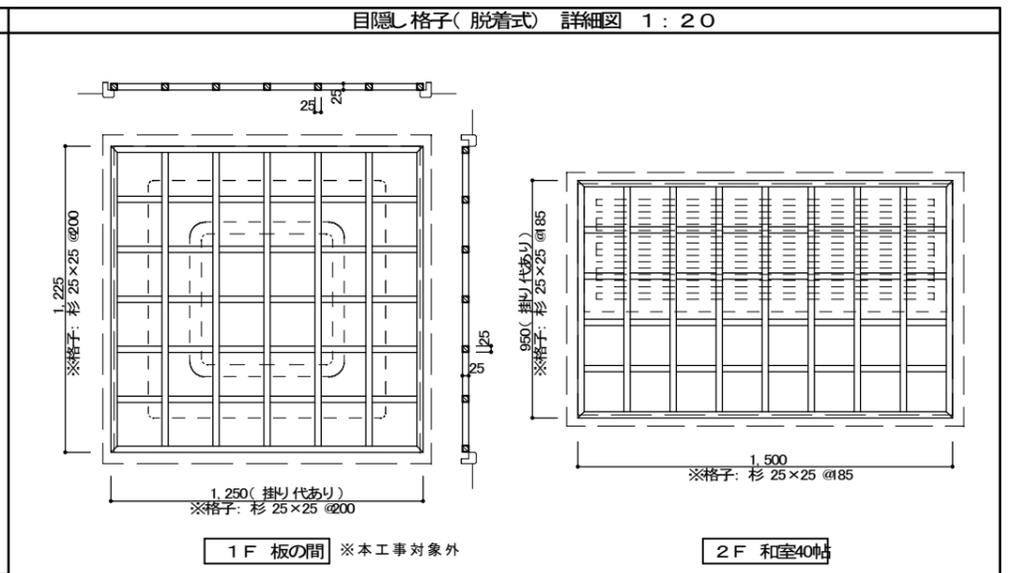
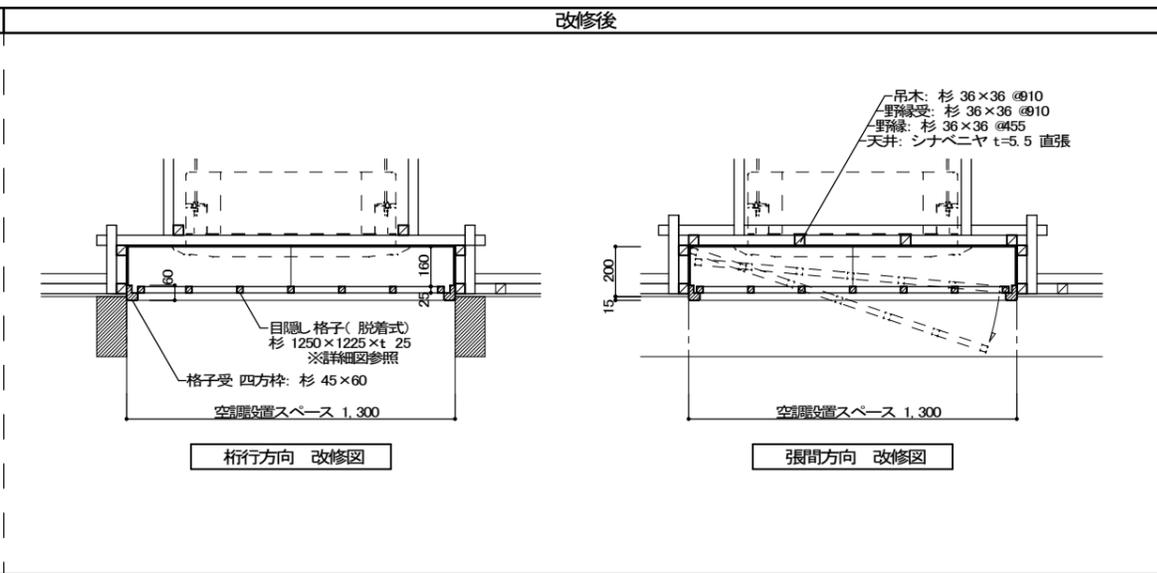
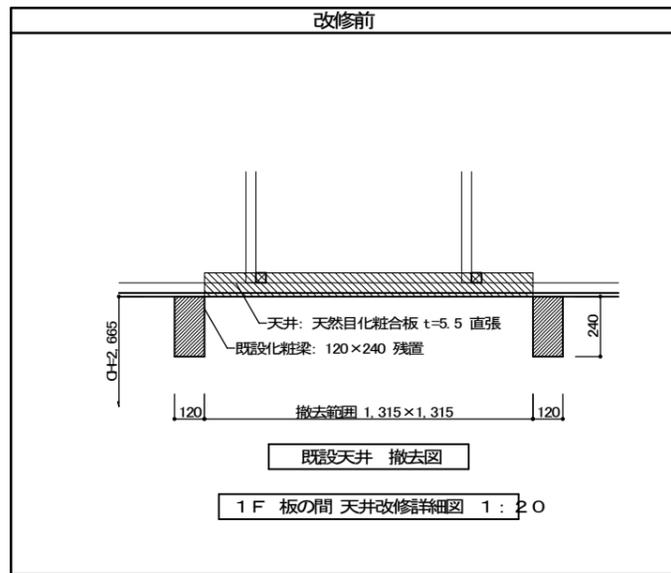


- ※ [斜線] : 天井改修箇所、示ス (撤去、復旧)
- ※ [格子] : 目隠し格子、位置示ス
- ※ [点検口] : 天井点検口、位置示ス (アルミ・450×450・額縁枠)

2F 平面図 1:100

階	室名	改修工事内容	改修前 改修後
2	交流サロン (ホール) ③	空調入替に伴う 天井部分改修(形状変更・傾斜→平天井) 天井点検口(アルミ・450×450・額縁枠) 新設	傾斜天井・LGS下地 P/B t=9.5下地 ロックウール吸音板 t=9.0張 平天井・LGS下地 P/B t=9.5下地 ロックウール吸音板 t=9.0張
	和室 40帖 ④	空調入替に伴う 天井部分改修(形状変更・傾斜→平天井) 目隠し格子 新設	傾斜天井・木下地 天然目化粧合板 t=5.5 直張 平天井・木下地 シナベニヤ t=5.5 直張

PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 本館棟 2F 改修平面図			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. A-6



PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 本館棟 各部 天井改修工事 詳細図			SCALE 1:20
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. A-7

電気設備工事特記仕様書

I 工事名称	伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事
II 工事場所	三重県伊賀市 上阿波 地内
III 工事仕様	

項目	特記事項
① 施行基準	図面及び仕様書に記載のない事項については以下による。 * 国土交通省大臣官房官庁建築総監修 「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」( 建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編 ) 「公共建築設備工事標準図 平成28年版」( 電気設備工事編・機械設備工事編 ) 「公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版」( 電気設備工事編・機械設備工事編 ) 「建築工事監理指針」 「電気設備工事監理指針」 「機械設備工事監理指針」平成28年版 * 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計 施工指針2005年版」 * 電気設備に関する技術基準を定める省令( 電気設備技術基準 ) * 電力会社供給条約 * 消防関連法規( 条例・所轄署指等要領を含む ) * 電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 * その他関係法規、関係基準
② 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び異議、設計図書のとおり施工することによって発生し得る不具合が発生しうると予想される場合については、その程度、監督員と協議すること。 なお設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
③ 施工計画等	受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。 * 総合施工計画書 なお、これらの書類の作成に際し、施工上密着型に関連する工事との納まり等について十分検討すること。
④ 工事使用材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。 * 使用機材届出書( メーカーリスト ) * 機器明細図 * カタログ、製作図・その他諸者資料 なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー( 参考 ) 及び国土交通省大臣官庁建築総監修「建設材料・設備機材等品質性評価事業」評価名簿( 最新版 ) 又はこれらと同等以上のものとする。 また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。
⑤ 工程表	関連業者間にて十分協議し、実施工程表を作成して監督員に提出すること。 なお実施工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
⑥ 工事写真	国土交通大臣官房官庁建築総監修「工事写真の撮り方( 改訂第3版 ) - 建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。 なおCDの提出箇所は「電子納品」を参照 * 代表写真( 不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、撤出状況等 ) を抽出し、1部相当サイズで印刷。( A4版用紙に両面印刷にて3枚/ページ ) 1部
⑦ 完成写真	主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、1部相当サイズで印刷する。 ( A4版用紙に3枚/ページ ) 1部 撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。
⑧ 完成書類	工事が完成した時は各種の現場及び検査を受けるものとする。 書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。 * 工事完成報告書、工事的目的物渡書、完成写真 * 製本図面( 竣工図 ) : 図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 竣工図は、原因サイズを2部。 白焼き( 青焼き不可 ) で文字消れのないこと。表紙( 可能な範囲で背表紙にも ) に「年度、工事名、竣工図、受注者名」を印刷( シール不可 ) すること。 * 引渡目録、工事書類整理書 * 工事書類( 工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等 ) * 工事書類( 打合記録、工事材料搬入報告 ) * 完成図書( 設備成績表、自社検査記録、機器完成図、取付説明書、保証書、機器銘板写真等 ) * 官公署手続き書類等( 検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等 ) * その他監督員の指示する書類 ただし、作成しきれない場合は、監督員との協議による。 なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
⑨ 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」( 厚生労働省 平成21年4月 ) により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行占用足場方式により行うこと。
⑩ 施工条件	監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。
⑪ 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況確認や調査、検証等に協力すること。

項目	特記事項
① 発生材の処理等	引き渡しを要するもの( ) 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 特別管理産業廃棄物 □変圧器 □コンデンサ □その他( ) 処理方法 ■現場内の監督員の指定する場所へ保管 なお施工に際して、PCB等特別管理産業廃棄物、及び放射線機器等を発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。 引き渡さないものは、全て構内へ搬出し、建設工事に係る資材の資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。 ( マニフェスト 原本の提示及び、E票の写しと集計表を監督員へ提出すること )
② 電子納品	工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ( JWM ) 及びPDFを格納。
③ 諸手続	工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続は、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。
④ 消火器出書類	消火器の設置箇所については、電気設備にて設置箇所を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。
⑤ 既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の撤去加工改造は、本工事とする。
⑥ 既設設備の調査	既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設等に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも総経路抵抗測定を行っておくこと。
⑦ 工事中の保安管理	新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更となった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。
⑧ 不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入( 伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱 ) を受けた場合の措置については ( 1 ) 受注者は暴力団員等( 伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱 ) による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察へ通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 ( 2 ) ( 1 ) により警察へ通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 ( 3 ) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程が遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
⑨ 耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成28年版」( 建設大臣官房長官庁建築総監修 ) 及び「建築設備耐震設計 施工指針( 2005年版 ) 」( 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 ) による。 ( 1 ) 局部加速度による建築設備機器の応答振幅水準( K <sub>a</sub> ) ( 2 ) 地震係数は、1.0とする。 ( 3 ) 自重が100kg以下の比較軽量の機器( 標準仕様書の適用を受けないものは除く ) の取付については、取付下地を念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。 ( 4 ) 配管配線及びダクトの支持材は、標準仕様書及び標準図による。 ( 5 ) 機器の耐震計算書を提出すること。 重量1kN( 100kg ) 以上のアンカー取付機器 ※強硬類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水配器、その他監督員が指示するもの。
⑩ 施工	( 1 ) 塗装 ・ 指定色で2回塗りとする。 金属管、2種金属線及び、吊りボルト、支持具等鋼板製( SUS、溶接亜鉛メッキ、樹脂塗装を除く ) は原則として塗装を施すこと。 ( 2 ) 行先表示等 ・ 分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンド・ホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 ( 3 ) センセータ ・ 分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等二強電回路、弱電回路が混在する場合はセンセータを取り付けること。 ( 4 ) 保護キャップ等 ・ レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ( おおよそ2m以下 ) にある場合は保護キャップを取り付けること。 ( 5 ) 躯体を貫通する場合、鉄筋穿通機等を使用し、鉄筋を切斷しないよう施工すること。
⑪ その他	( 1 ) 使用機械 ・ 低騒音型、低振動型の建機機械の使用に努めること。 ( 2 ) 測定機器の校正記録 ・ 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証( 写し ) 又は校正記録( 写し ) を監督員に提示すること。 ( 3 ) 設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

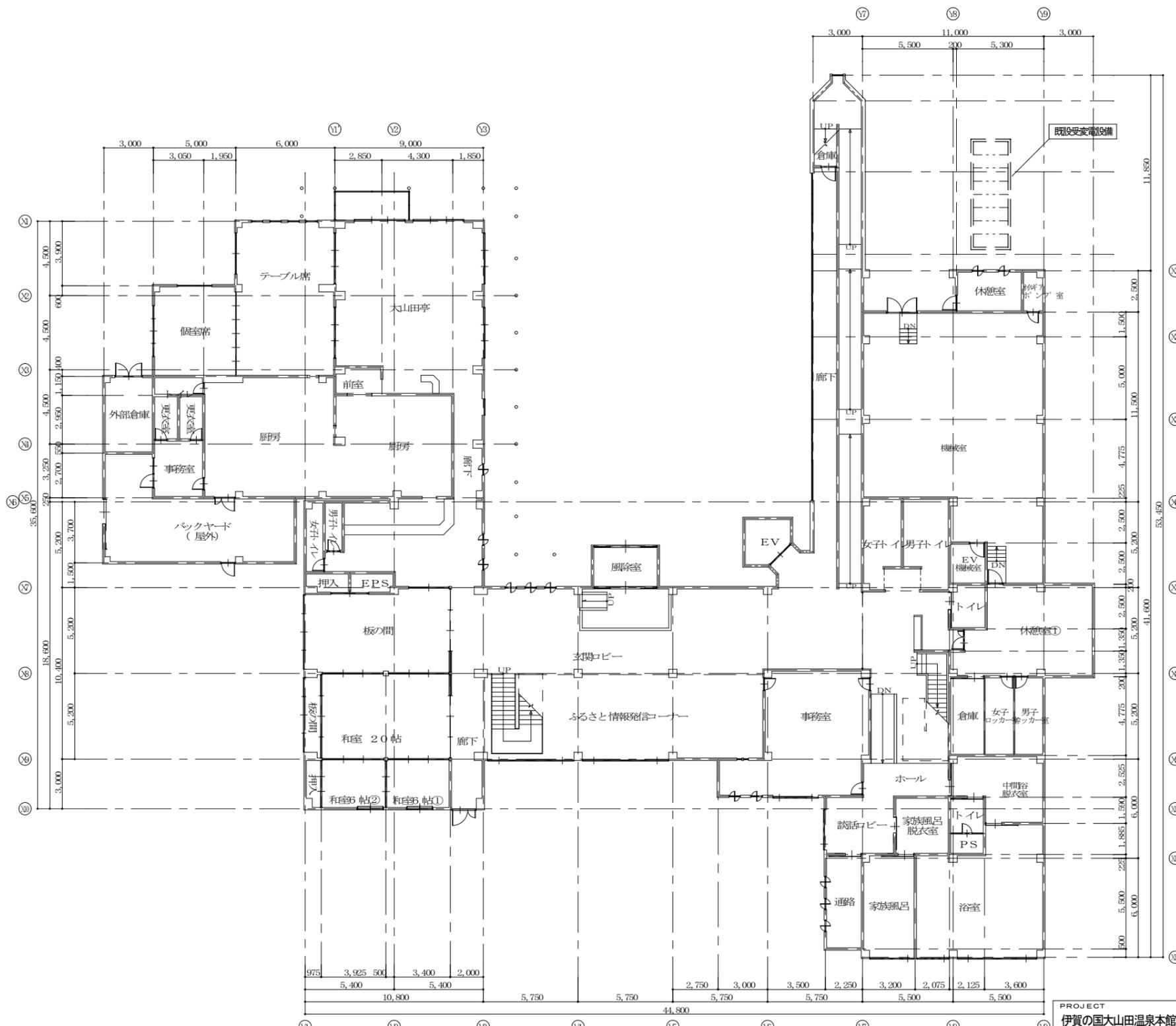
工事範囲				
● 電気方式	○ 単相3線式( 200/100V )	● 単相2線式( 200V )	60Hz 60Hz	
	◎ 三相3線式( 200V )			
	◎ 配管	◎ 配線	○ 機器取付	○ 引込
	◎ 空回線用電源設備	◎ 動力機器の形式調整		
	○ 埋込型	○ 露出型	○ 民間仕様	○ 盤内には、施工年月、請負者名、施工者名を記載する。
◎ 設置( ・ 単相用・ 動力用 )	○ 設置しない	○ SPD( 低圧用 )	○ クラスI	
○ クラスII				
◎ 既設受変電設備改修( 低圧動力盤 )				

電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト

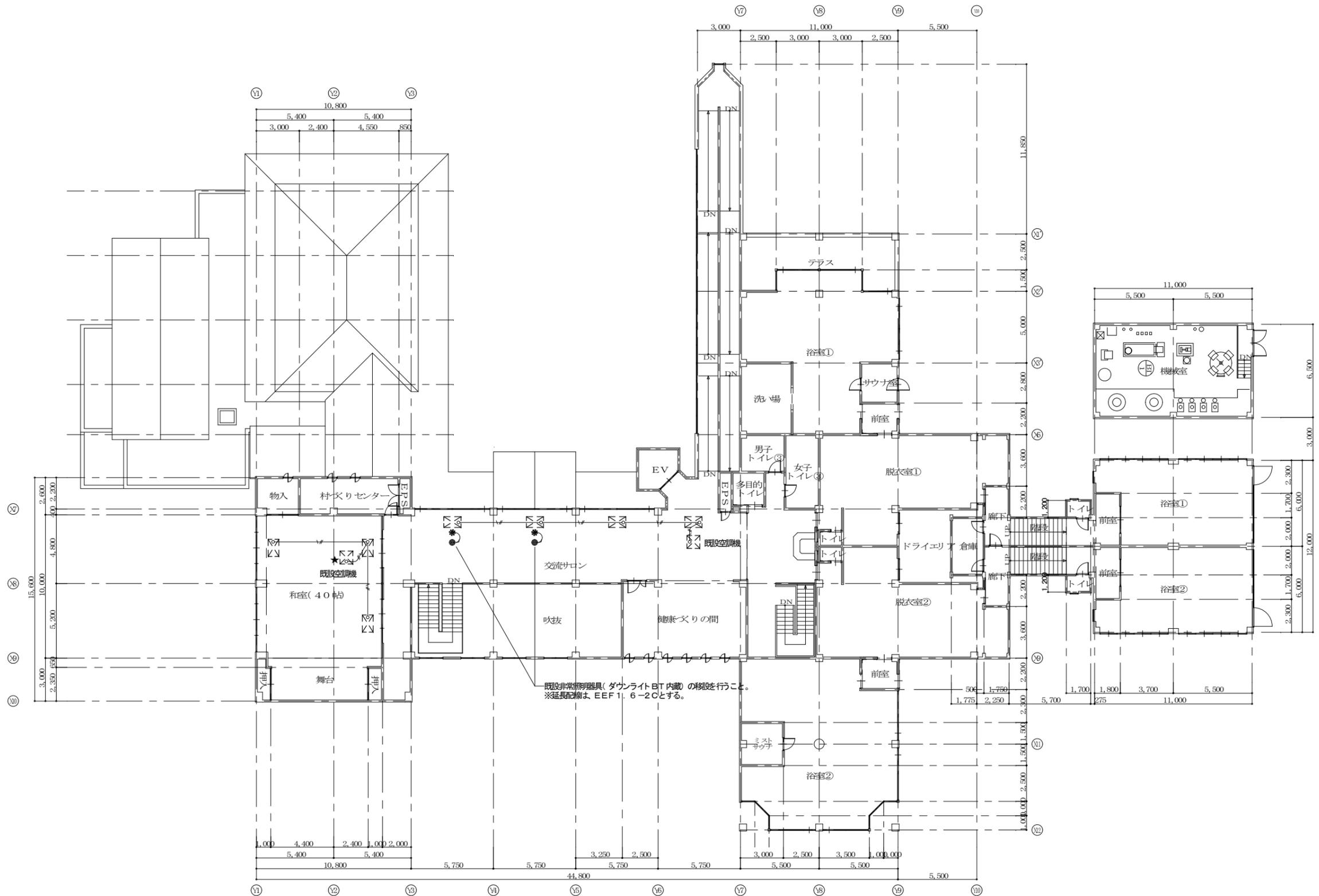
分類	資機材名	適用範囲	規格・メーカー等
電線	電線、ケーブル類( エコ電線・ケーブルを優先使用 )	一般施工工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	● JIS規格適合品 ● JCS( 日本電線工業会規格 ) 規格適合品
		上記以外の一般施工工事に使用するもの	● JIS規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	● 登録認定機関( ( 社 ) 電線総合技術センター ) または指定認定機関( ( 社 ) 日本電線工業会( 耐火・耐熱電線認定業務委員会 ) ) により認定または評定されたもの ● ( 社 ) 日本電線工業会より自主認定( 評定 ) されたもの
	圧着端子 裸圧着スリーブ	一般施工工事に使用するもの	● JIS規格適合品
電線保護物類	金属管、VE、PF、HIVE、FEP、CD、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般施工工事に使用するもの	● JIS規格適合品 ● JIS規格のないものについては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般施工工事に使用するもの	● JIS規格適合品 ● JIS規格のないものについては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具( 省エネ型を優先使用 )		● JIS規格適合品 ● ( 社 ) 日本照明器具工業会標準( JIL規格 ) 適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	非常用照明器具		● 指定認定機関による型式適合認定または型式部材等製造者認証を受けたもの ● ( 社 ) 日本照明器具工業会の自主評定を受け、JIL5501の適合マークが貼付されたもの
盤類	分電盤、制御盤		● JIS規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による

注 ・ 「 JIS規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示( 製品、包装の外函、容器の外函、結束荷札ごとの納品書に JISマーク表示、または JIS 規格証明書等の添付 ) のあるものをいう。  
 ・ 「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官庁建築総監修「建設材料・設備機材等品質性評価事業 設備機材等評価名簿( 電気設備機材・機械設備機材 )」の最終版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合のみ有効とする。  
 ・ 「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。  
 ・ 特殊仕様や資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

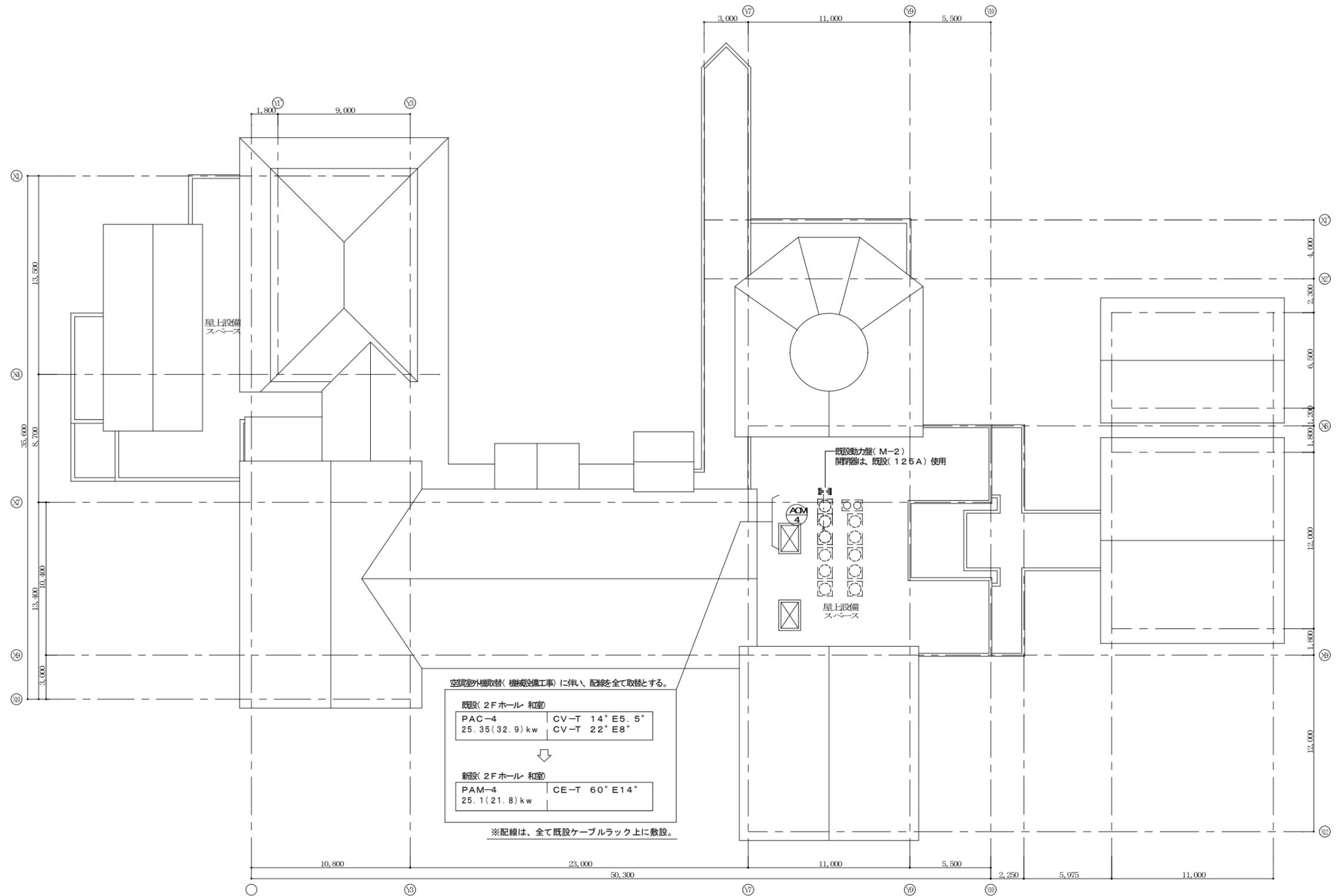
PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事		PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 盤架線図		SCALE	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
		DRAWING NO. <b>E-01</b>	



PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 本館1階設備図			SCALE A3=1:282 A2=1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. <b>E-02</b>



PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 本館2階設備図			SCALE A3=1:282 A2=1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. <b>E-03</b>



PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 本館屋根設備図			SCALE A3=1:282 A2=1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. <b>E-04</b>

機械設備工事特記仕様書 <span style="float:right">◎印を付けたものを本工事に適用する。</span>																				
<b>建築概要</b>																				
工事名称	伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事																			
工事場所	三重県伊賀市上阿波 地内 <span style="float:right">* 建築仕様書参照</span>																			
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延べ面積</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>伊賀の国大山田温泉「さるびの」</td> <td>RC造、木造</td> <td>2階、平屋</td> <td>3,279.56㎡</td> <td></td> </tr> </table>					建物名称	構造	階数	延べ面積	備考	伊賀の国大山田温泉「さるびの」	RC造、木造	2階、平屋	3,279.56㎡							
建物名称	構造	階数	延べ面積	備考																
伊賀の国大山田温泉「さるびの」	RC造、木造	2階、平屋	3,279.56㎡																	
<b>一般事項</b>																				
適用仕様書	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工編）」</li> <li>「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工編）」</li> <li>「公共建築設備工事標準仕様（機械設備工編）」</li> <li>「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工編）」</li> <li>◎ 空気調和・衛生工学会規格 「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」</li> <li>◎ 日本建築家協会編 「建築設備工事共通仕様書」</li> <li>◎ 所轄水道局 ○ ガス供給社内規 ◎ 消防関係法規（所轄署指導要綱含む） ◎ その他関連法規</li> </ul>																			
優先順位	1. 現場説明事項・質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書																			
申請手続	工事に伴う官公署への申請・届出は請負者において行う。これに伴う費用も本工事の含む。																			
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議する事。																			
変更	設計図面に明記なくとも、外観上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。																			
工程表	実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協議して作成し、監督員に提出する。																			
施工図	請負者は施工に先立ち、施工計画書、工種別施工要領書、施工図等を作成し、監督員と打ち合わせを行うこと。施工図等の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討する。																			
機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届出ること。尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカーの選定にあつた場合は、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に務める。																			
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等 <span style="float:right">とりまとめ提出すること。</span> 完成原因1部、青焼A3版2つ製本（文字入、表紙、背表紙）2部、青焼A2版2つ製本（文字入、表紙、背表紙）2部、完成図面電子データJW形式CDR1枚																			
工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂版）一建築設備編」によるほか、監督員の指示により撮影し提出する。全写真のサムネールを印刷したもの（A4版）1部、代表的写真を抽出し、L版相当サイズで印刷（A4版用紙に1ページ3枚）印刷したものを部																			
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。																			
発生材処分	発生材を処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」に基づいて適正に処理する。（マニフェストA、、D、Eの写しを提出すること） 建設リサイクル法（三重県指針）に基づき再生資源の十分な利用及び廃棄物の原料等を通じて、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。																			
その他	工事に必要な又は支障となる既設配管、機器の脱着については、図面に記載なくとも監督員の指示により行うこと。工事着工前に漏水の有無を確認すること、又工事施工後の加圧試験等を監督員の指示により行うこと。																			
<b>特記事項</b>																				
○ 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。																				
◎ 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように 「建築設備耐震設計指針」により施工する。																				
○ 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。																				
○ 建物導入配管（給水、ガス、消火）は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工をおこなう。																				
○ 水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはVP管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。																				
○ 排水管を除く埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。																				
◎ 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。																				
◎ 土間配管は土間筋に吊り下げするなど埋設配管を保持するようにする。																				
◎ 屋外露出及び多湿箇所（トレンチット等）の配管架台は、SUS又はS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。																				
◎ 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。																				
◎ 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。																				
<b>共通事項</b>																				
保温工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 保温施工範囲は共通仕様書による。</li> <li>◎ 保温施工種別 ○ 共通仕様書による。</li> <li>◎ 下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）</li> </ul> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>屋内露出</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>合成樹脂カバー</td> </tr> <tr> <td>屋外露出・多湿箇所</td> <td>ポリスチレンフォーム保温筒</td> <td>ステンレス鋼板仕上げ</td> </tr> <tr> <td>天井・P・S内</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>床下・暗渠内</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>防水麻布（アスファルトプライマー）</td> </tr> </table>				屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂カバー	屋外露出・多湿箇所	ポリスチレンフォーム保温筒	ステンレス鋼板仕上げ	天井・P・S内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス	床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布（アスファルトプライマー）				
屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂カバー																		
屋外露出・多湿箇所	ポリスチレンフォーム保温筒	ステンレス鋼板仕上げ																		
天井・P・S内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス																		
床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布（アスファルトプライマー）																		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 保温厚さ ◎ 共通仕様書による。</li> <li>◎ 下表による。（但し機器、煙道は共通仕様書による。）</li> </ul> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>80A以下</td> <td>100～150A</td> <td>200A以上</td> </tr> <tr> <td>給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外・屋内露出のみ）</td> <td>20mm</td> <td>25mm</td> <td>40mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25A以下</td> <td>32～200A</td> <td>250A以上</td> </tr> <tr> <td>冷水管・冷温水管</td> <td>30mm</td> <td>40mm</td> <td>50mm</td> </tr> </table>					80A以下	100～150A	200A以上	給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外・屋内露出のみ）	20mm	25mm	40mm		25A以下	32～200A	250A以上	冷水管・冷温水管	30mm	40mm	50mm
	80A以下	100～150A	200A以上																	
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外・屋内露出のみ）	20mm	25mm	40mm																	
	25A以下	32～200A	250A以上																	
冷水管・冷温水管	30mm	40mm	50mm																	
◎ 冷媒配管の露出部は化粧ケース仕上げとする。																				
<b>工事種別</b>																				
	屋外	屋内	屋外	屋内																
給排水衛生設備		空調設備																		
給水設備		機器設備		◎																
排水設備		配管設備		◎																
衛生器具設備		ダクト設備		◎																
給湯設備	◎	換気設備																		
ガス設備		排煙設備																		
消火設備		自動制御設備		◎																
ろ過設備																				
浄化槽設備																				

工 事 範 囲					
○ 給水設備	○ 給水方式	○ 水道直結方式			
		○ 高架水槽方式	○ 市水	○	
		○ 圧送方式	○ 圧力タンク	○ 回転数制御	
	○ 受水槽 本体	○ FRP製	○ 一体型	○ 複合板 ○ 単板	
			○ パネル型	○ 複合板 ○ 単板	
		○ ステンレス製	○ 一体型	○ パネル型	
		○ 鋼板製	○ 一体型	○ パネル型	
		○ FRP製	○ 一体型	○ 複合板 ○ 単板	
			○ パネル型	○ 複合板 ○ 単板	
		○ ステンレス製	○ 一体型	○ パネル型	
○ 高架水槽 本体		○ 一体型	○ 複合板 ○ 単板		
		○ パネル型	○ 複合板 ○ 単板		
	○ ステンレス製	○ 一体型	○ パネル型		
○ 配管材料	○ ライニング鋼管	一 般	○ VA ○ VB ○ VD ○ PA ○ PB ○ PD		
		地 中	○ VD ○ PD ○ SUS		
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	一 般・地中	○ HI ○ VP ○ ポリ管		
	○ さや管工法	○ 架橋ポリ管	○		
○ 弁 類	直結部分	○ 水道業者指定品			
	その他の部分	○ JIS 5 kgf/cm2 ○ JIS 10 kgf/cm2			
○ 量水器	○ 貸与品	○ 買取品（私設）			
○ 引込加入、市納金等	○ 要	○ 別途工事 ○ 本工事			
	○ 不要				
○ その他	○ ウォーターハンマーが生じる恐れのある配管経路へは有効な防止機器を取付ける				
	○ 給水配管（H1）は抜け防止措置を施すこと				
○ 排水設備	○ 排水方式	屋 内	○ 分流方式	○ 合流方式	
		屋 外	○ 分流方式	○ 合流方式	
		雨 水	○ 分流方式	○ 合流方式	
	○ 放流先	汚 水	○ 下水管	○ 浄化槽 ○ 合併処理槽 ○ 既存樹	
		雑排水	○ 下水管	○ 合併処理槽 ○ 側溝又は河川 ○ 既存樹	
		雨 水	○ 雨水管	○ 調整池 ○ 側溝又は河川 ○ 既存樹	
	○ 配管材料	屋内汚水管	○ メカニカル形排水鋳鉄管	○ 排水用塩化ビニル管（可とう継手又はMD継手）	
			○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	○ 耐火被覆ビニル管	
		雑排水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）	○ 排水用塩化ビニル管（可とう継手又はMD継手）	
			○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	○ 耐火被覆ビニル管 ○ 耐熱塩化ビニル管（HT）	
	通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）	○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○ 耐火被覆ビニル管		
	屋外排水管	○ 遠心力鉄筋コンクリート管（外圧管）	○ 2種 ○ 1種		
		○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）[150以上]		
○ 樹 類	○ 公団形（B種）	○ 現場打ち	○ 市販樹	○ 小口径	○ ビニル樹
○ その他	○ 各階に伸縮継手取付				
○ 大便器洗浄方式	○ FV	○ 節水形	○ 低圧形		
	○ 洗浄タンク				
○ 衛生器具設備	○ 水 栓	○ 節水コマ（泡沫式は除く） ○ 普通コマ			
	○ その他	○ 和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。			
	◎ 給湯方式	◎ 中央式	◎ ボイラー	◎ 温水機	○ ガス給湯器 ○ 電気温水器
		○ 局所式	○ ガス給湯器	○ 瞬間湯沸器	○ 電気温水器
	○ 配管材料	○ 鋼管（○ M ○ L）	○ 被覆鋼管（○ M ○ L）		
		○ ステンレス鋼管	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）[油]	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）[温水]	
		○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	○ 内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 [土中、暗渠]		
		○ 耐熱性硬質塩化ビニル管	○ さや管工法（○ 架橋ポリ管 ○ ）		
	○ 燃 料	○ 都市ガス	○ LPG	○ 灯油	○ A重油 ○ 電気
	○ ガスの種別	○ 都市ガス	（種別 13A 発熱量 10,750 kcal/m3）	供給事業者名：名張近鉄ガス	
	○ 液化石油ガス	（発熱量 24,000kcal/kg）	供給事業者名：名張近鉄ガス		
○ 配管材料	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ ビニル被覆鋼管 [地中埋設部] ○ ポリエチレン被覆鋼管 [地中埋設部] ○ ポリ管				
	○ 都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。				
○ ポンプ	○ 別途工事	○ 本工事			
	ポンプ	（○ 10kg ○ 20kg ○ 50kg ○ バルク 本数（t）			
	転倒防止鎖等	（○ 本工事 ○ 別途工事）			
○ 気化装置	○ 要	○ 電気式 ○			
	○ 不要				
○ メーター	○ 貸与品	○ 買取品			
○ ガス漏れ検警報器	○ 本工事	○ 別途工事			
	○ 一般形	○ 自動遮断弁付			
○ 引込納付金等	○ 要	○ 別途工事 ○ 本工事			
	○ 不要				
○ その他	○				
○ 消火設備	○ 消火設備の種類	○ 屋内消火栓	○ 屋外消火栓	○ スプリンクラー	○ 泡消火 ○ 粉末内消火
		○ 連結送水管	○ 連結散水管	○ 移動粉末消火	○ フード消火 ○ 消火器
	○ 屋内消火栓箱	○ HB-1A	○ HB-1B	○ HB-2A	○ HB-2B
		○ HB-3A	○ HB-3B	○ HB-4A	○ HB-4B ○ S
	○ 屋外消火栓箱	○ HB-2-1	○ HB-2-2		
	○ 連結送水管	○ HB-11A、B ○ HB-12A、B			
	○ 配管材料	○ 鋼管（○ JIS G 3452 ○ JIS G 3454） ○ 消火用塩化ビニル被覆鋼管（VF）			
	○ 消火栓弁	○ JIS 10 kgf/cm2			
	○ その他	○ 消火栓箱は指定色焼付塗装とする。			
	○ ろ過方式	○ 砂	○ フィルター		
○ 制 御	○ 全自動 ○ 手動				
○ 配管材料	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○ 耐熱性硬質塩化ビニル管				
○ その他	○				
○ 方式・容量	○ 合併	○ 単独			
	算定人員	人 槽	処理水量	m3/日	
○ 材 質	○ FRP製	○ コンクリート既製管		○ RC躯体	
○ 補強スラブ	○ 要	○ 不要			
○ その他	○				

◎ 設計空気条件 (指示なきは建設省建築設備設計基準による)	<夏季>				<冬季>				
	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%	外気条件	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%	外気条件	
	28.0			室内条件	19.0			室内条件	
◎ 熱源機器	○ 冷水発生機 ○ チラー (◎ 空冷HP ○ ガスHP ○ 水冷HP ○ 水冷)								
	○ 温水ボイラー ○ 水蓄熱								
◎ 放熱器	◎ EHP ○ GHP ○ FCU ○ ACU								
◎ その他	◎ 冷媒ガス漏れ検知器：12個（小部屋対象）								
◎ 配管方式	◎ 冷媒配管 ○ 冷温水配管 ○ 冷却水配管 ○ 温水配管								
◎ 配管材料	◎ 冷媒管 ○ 冷媒用鋼管 ◎ 冷媒用被覆鋼管：ガス管保温厚20mm、液管保温厚8～10mm								
	○ 冷温水管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管								
	○ 冷水・温水管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管								
	○ 冷却水管 ○ ライニング鋼管（○ VA ○ VB） ○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）								
	◎ ドレン管 ◎ 屋内露出：結露防止用保温被覆ポリ塩化ビニル管 ○ 屋外露出：カラー硬質ポリ塩化ビニル管 ○ 地中：硬質ポリ塩化ビニル管								
	○ 油管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○ 外面塩化ビニル被覆鋼管								
	○ 蒸気管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）								
○ 弁 類	○ JIS 5 kgf/cm2 ○ JIS 10 kgf/cm2 呼び径100A以上の弁は係員と協議の上パタフライ弁を使用してよい。								
○ その他	○								
◎ 風 道	◎ 低速風道 ○ 高速風道								
◎ 風道材質	○ 亜鉛鉄板 ○ 塩化ビニルライニング鋼板 ○ ステンレス鋼板 ○ グラスウールダクト ○ 消音フレキ								
◎ 吹出口・吸込口	○ アルミニウム製 ○ 鋼板製（指定色焼付塗装）								
◎ その他	○								
◎ 換気方式	○ 集中換気 ○ 個別換気								
◎ 風 道	○ 低速風道 ○ 高速風道								
◎ 風道材質	○ 亜鉛鉄板 ○ 塩化ビニルライニング鋼板 ○ ステンレス鋼板 ○ 硬質塩化ビニル管（VU） ○ スパイラルダクト								
◎ 吹出口・吸込口	○ アルミニウム製 ○ 鋼板製（指定色焼付塗装）								
◎ 耐火被覆	○ 湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。								
◎ その他	○								
◎ 風道材質	○ 亜鉛鉄板 ○ 普通鋼板（厚1.6mm）								
◎ 排煙口	○ 天井取付（○ スリット形 ○ スイグ形）								
◎ 排煙口開放装置	○ 手動 ○ 手動及び遠隔操作可能なもの								
◎ 復帰方式	○ 遠隔形 ○ 手元形								
◎ 排煙風量測定	○ 建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。								
◎ その他	○								
◎ 制御方式	○ 電子 ○ 電気 ○ 空気								
◎ その他	○								
マ ー カ ー リ ス ト 下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。									
管	継手共	水マーク表示品/WSP表示品/JISマーク表示品/HASS表示品/JPF規格品/SAS規格品							
弁	青銅弁・鑄鉄弁	JISマーク表示品							
保温材	RW・GW保温材	JISマーク表示品							
ポンプ	ポンプ類	評価事業名簿による							
衛生器具	衛生器具類	JISマーク表示品 JIS規格以外：INAX/TOTO							
水槽	FRP水槽	積水プラント/日立化成/ブリジストン/三菱樹脂							
	鉄パネル水槽	積水プラント/ブリジストン							
樹	樹類（公団型）	協和コンクリート/桑名工業/昭和工業/ネオジオ/丸八産業							
	樹類（塩ビ樹）	日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準拠品							
鑄鉄製品	排水金物	オオタケファンリー/カネソウ/ダイレド/中部コーポレーション/南濃鑄工/福西鑄工/ホクキャスト							
	鑄鉄製蓋	評価事業名簿による							
量水器	量水器	愛知時計電機/金門製作所/リコーエレメック							
ガス器具	ガス配管器具	伊藤工機/桂精機製作所/藤井合金製作所/富士工器							
	ガス給湯器（都市ガス）	ガス供給者の承認する製造者の製品							
	ガス給湯器（LPG）	「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証票を付したのもの							
ガス警報	ガス警報システム	金門製作所/富士工機/富士電機/松下電工/矢崎総業							
厨房機器	厨房システム	評価事業名簿による							
濾過装置	濾過機	オルガノ/栗田工業/サンエイ工業/三協/三進ろ過工業/タクマ/理水化学工業							
減音機	減音機	磯村製作所/オーヤラックス/水道機工/日本曹達							
消火設備	消火栓類	日立製製作所/岸本産業/北浦製作所/村上製作所/横井製作所							
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品							
	スプリンクラー・泡消火	ノーマ/ニッタン/日本ドライケミカル/能美防災/ホーチキ							
	特殊ガス消火	川重防災工業/セコム/日昭/林テック/ノス/日信防災/ニッタン/能美防災							
グリストラップ	グリス・ガリリトラップ	カネソウ/栗本鑄工所/下田機工/積水プラントシステム							
製缶類	製缶類・熱交換器	島倉鉄工所/広島鉄工/ベルテック/前田鉄工所/前田鉄工所（四日市）/森松工業							
空気調和機	パッケージ形空調機	パナソニック/ダイキン/東芝/日立製作所/三菱電機							
	ガスエンジン空調機	パナソニック/アイシン/ヤンマー/ダイキン							
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工/高砂ゴム/特許機器/ブリヂストン/明和ゴム化成							
加湿器	加湿器	ウェットマスター/ピーエス工業/山武軽装							
送風機	送風機類	評価事業名簿による							
換気扇	換気扇類	栗田工業/東芝/日立製作所/松下電器産業/三菱電機							
ダクト付属品	吹出口・吸込口	空研工業/新見工業/トーキン/鋼興業							
	風量ユニット	エアコンスター/クボタ/新見工業/東プレ							
ダクト	亜鉛鉄板	JIS規格品							
	ステンレス鋼板	JIS規格品							
	スパイラルダクト	大阪ラセン管工業/栗本鑄工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業							
	フレキダクト	アライ実業/オーツカ/栗本鑄工所							
自動制御	自動制御機器	トキメックランディスギヤ/山武ハネウェル/横河ジョンソンコントロールズ							

PROJECT			PROJECT NO.		
伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事					
DRAWING			SCALE		
棟給排水設備 特記仕様書					
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE		
			. . .		
			DRAWING NO.		
			M-1		

凡 例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
R	冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管		空調室内機	RS	空調ON・OFFリモコンスイッチ
D	ドレン管：硬質ポリ塩化ビニル管		空調室外機	●	空調リモコンスイッチ

空調機器表 形式 ヒートポンプ式

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量					台数	備考
			相 (φ)	電圧 (V)	圧縮機 (kW)	送風機 内 (kW)	送風機 外 (kW)		
ACM-1	ビルマルチエアコン 更新用：標準仕様	形式 室外機 冷房能力 73.0 kW 暖房能力 73.0 kW 冷房消費電力 25.10 kW 暖房消費電力 20.59 kW 付属品 電源配線キット 防振架台、他付属品一式	3	200	4.55X3 4.26X2	1.0	1.0	1	設置場所：本館棟 屋上 参考品番： MMY-AP7306HR
ACM1-1	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット4方向吹出し 冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW 冷房消費電力 0.96 kW 暖房消費電力 0.96 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 他付属品一式	1	200		0.13		2	設置場所：本館棟 1階 玄関ロビー 参考品番： MMU-AP1407H
ACM1-2	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット4方向吹出し 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 冷房消費電力 0.026 kW 暖房消費電力 0.026 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 ワイドパネル、他付属品一式	1	200		0.06		2	設置場所：本館棟 1階 事務室 参考品番： MMU-AP567H
ACM1-3	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井埋込ビルトイン形 冷房能力 9.0 kW 暖房能力 10.0 kW 冷房消費電力 0.071 kW 暖房消費電力 0.071 kW 付属品 吸込フルパネル、標準フィルター、 キャンバスタクト、他付属品一式	1	200		0.12		2	設置場所：本館棟 1階 玄関ロビー 参考品番： MMD-AP904BH
ACM-2	ワイヤードリモコンスイッチ ビルマルチエアコン 更新用：標準仕様	形式 室外機 冷房能力 22.4 kW 暖房能力 22.4 kW 冷房消費電力 6.40 kW 暖房消費電力 5.28 kW 付属品 防振架台 他付属品一式	3	200	2.75X2	1.0	1.0	1	設置場所：本館棟 屋上 参考品番： MMY-MAP2246HR
ACM2-1	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット4方向吹出し 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 冷房消費電力 0.026 kW 暖房消費電力 0.026 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 他付属品一式	1	200		0.06		1	設置場所：本館棟 1階 休憩室① 参考品番： MMU-AP567H
ACM2-2	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット4方向吹出し 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4.0 kW 冷房消費電力 0.020 kW 暖房消費電力 0.020 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 他付属品一式	1	200		0.06		1	設置場所：本館棟 1階 談話ロビー 参考品番： MMU-AP367H
ACM2-3	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット2方向吹出し 冷房能力 2.8 kW 暖房能力 3.2 kW 冷房消費電力 0.024 kW 暖房消費電力 0.024 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 ワイドパネル、他付属品一式	1	200		0.02		4	設置場所：本館棟 1階 中間浴脱衣室 家族風呂脱衣室 通路、休憩室 参考品番： MMU-AP284WH
ACM2-4	ビルマルチエアコン 室内機	形式 壁掛形 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4.0 kW 冷房消費電力 0.019 kW 暖房消費電力 0.019 kW 付属品 標準フィルター、他付属品一式	1	200		0.03		1	設置場所：本館棟 1階 休憩室① 参考品番： MMK AP366H
ACM-3	ワイヤードリモコンスイッチ ビルマルチエアコン 更新用：標準仕様	形式 室外機 冷房能力 45.0 kW 暖房能力 45.0 kW 冷房消費電力 15.40 kW 暖房消費電力 13.30 kW 付属品 防振架台 他付属品一式	3	200	4.55X3	1.0	1.0	6	設置場所：本館棟 屋上 参考品番： MMY-MAP4506HR
ACM3-1	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット2方向吹出し 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW 冷房消費電力 0.045 kW 暖房消費電力 0.045 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 他付属品一式	1	200		0.04		4	設置場所：本館棟 2階 脱衣室①② 参考品番： MMU-AP714WH

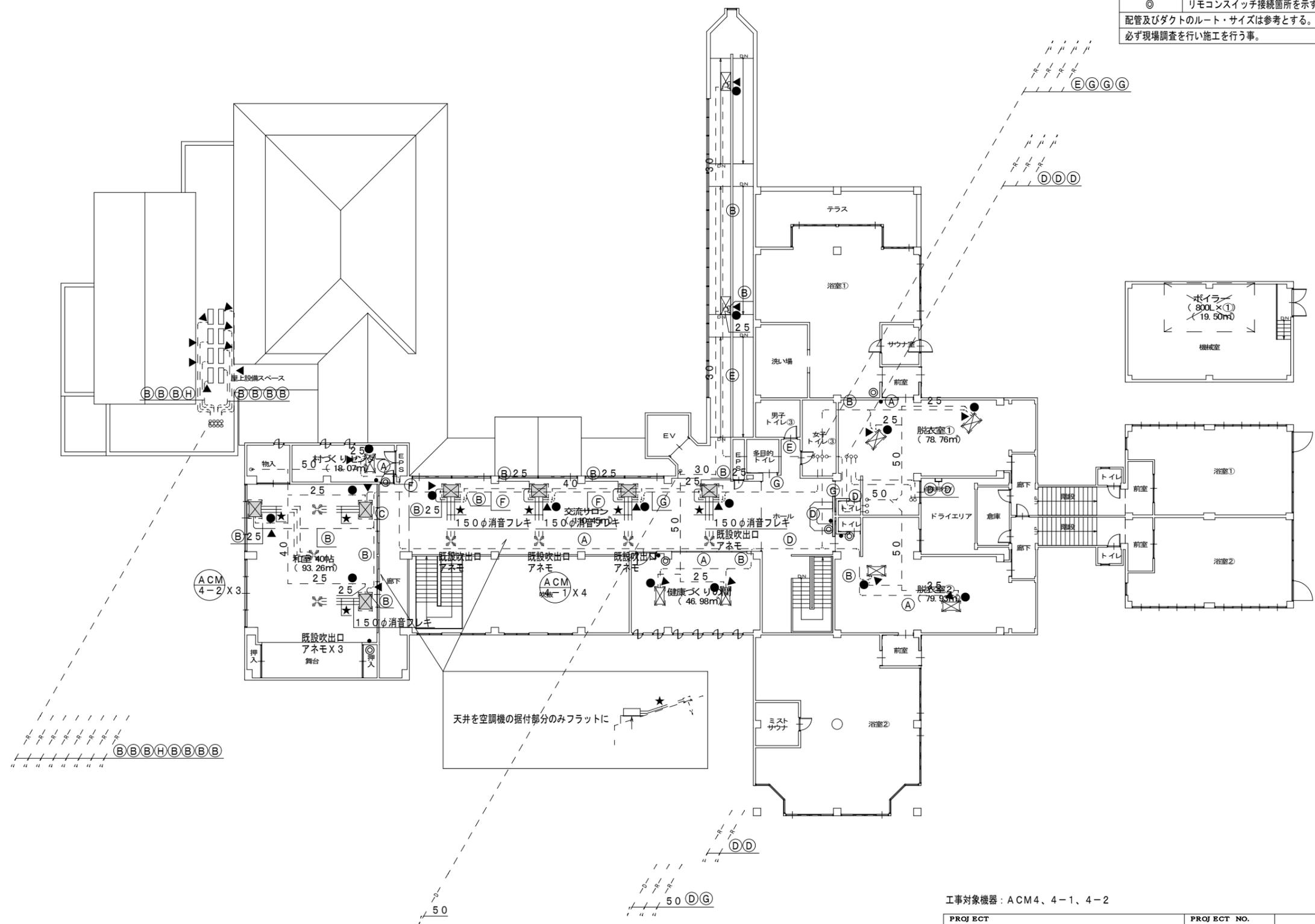
空調機器表 形式 ヒートポンプ式

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量					台数	備考
			相 (φ)	電圧 (V)	圧縮機 (kW)	送風機 内 (kW)	送風機 外 (kW)		
ACM3-2	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット2方向吹出し 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 冷房消費電力 0.034 kW 暖房消費電力 0.034 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 他付属品一式	1	200		0.03		2	設置場所：本館棟 2階 健康づくりの間 参考品番： MMU-AP564WH
ACM3-3	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット2方向吹出し 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4.0 kW 冷房消費電力 0.024 kW 暖房消費電力 0.024 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 ワイドパネル、他付属品一式	1	200		0.02		1	設置場所：本館棟 2階 中づくりセンター 参考品番： MMU-AP364WH
ACM-4	ワイヤードリモコンスイッチ ビルマルチエアコン 更新用：標準仕様	形式 室外機 冷房能力 73.0 kW 暖房能力 73.0 kW 冷房消費電力 25.10 kW 暖房消費電力 20.59 kW 付属品 電源配線キット 防振架台、他付属品一式	3	200	4.55X3 4.26X2	1.0	1.0	1	設置場所：本館棟 屋上 参考品番： MMY-AP7306HR
ACM4-1	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井埋込ビルトイン形 冷房能力 9.0 kW 暖房能力 10.0 kW 冷房消費電力 0.071 kW 暖房消費電力 0.071 kW 付属品 吸込フルパネル、標準フィルター、 キャンバスタクト、他付属品一式	1	200		0.12		4	設置場所：本館棟 2階 交流サロン 参考品番： MMD-AP904BH
ACM4-2	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井埋込ビルトイン形 冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW 冷房消費電力 0.107 kW 暖房消費電力 0.107 kW 付属品 吸込フルパネル、標準フィルター、 キャンバスタクト、他付属品一式	1	200		0.12		3	設置場所：本館棟 2階 和室 参考品番： MMD-AP112BH
ACM-5	ワイヤードリモコンスイッチ ビルマルチエアコン 更新用：標準仕様	形式 室外機 冷房能力 40.0 kW 暖房能力 40.0 kW 冷房消費電力 14.35 kW 暖房消費電力 10.65 kW 付属品 防振架台 他付属品一式	3	200	4.25X3	1.0	1.0	1	設置場所：本館棟 屋上 参考品番： MMY-MAP4006HR
ACM5-1	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井吊下形 冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW 冷房消費電力 0.083 kW 暖房消費電力 0.083 kW 付属品 標準フィルター、ドレンアップメカ L字配管キット、機器取付金具、 他付属品一式	1	200		0.139		3	設置場所：本館棟 1階 大山田亭 参考品番： MMC-AP1408H 指定塗装仕上げ
ACM-6	ワイヤードリモコンスイッチ ビルマルチエアコン 更新用：標準仕様	形式 室外機 冷房能力 28.0 kW 暖房能力 28.0 kW 冷房消費電力 9.70 kW 暖房消費電力 7.29 kW 付属品 防振架台 他付属品一式	3	200	4.26X2	1.0	1.0	1	設置場所：本館棟 屋上 参考品番： MMY-MAP2806HR
ACM6-1	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット4方向吹出し 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 冷房消費電力 0.026 kW 暖房消費電力 0.026 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 他付属品一式	1	200		0.06		4	設置場所：本館棟 1階 板の間、和室 参考品番： MMU-AP567H
ACM6-2	ビルマルチエアコン 室内機	形式 天井カセット1方向吹出し 冷房能力 2.8 kW 暖房能力 3.2 kW 冷房消費電力 0.069 kW 暖房消費電力 0.069 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 他付属品一式	1	200		0.022		2	設置場所：本館棟 1階 和室①② 参考品番： MMU-AP284H
	ワイヤードリモコンスイッチ 集中管理リモコンスイッチ		1	1				4	設置場所：1階事務室

注 記 運転特性、能力はJIS条件による。 空調機は省エネタイプを仕様すること。  
冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。 室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。 室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締め付けの事。  
アンカーはケミカルアンカー仕様。 室外機-室内機間の2次側配線は既設流用とする。 リモコン配線は既設流用とする。  
機器は同等品以上とする。

PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事		PROJECT NO.	
DRAWING 機材準備 空調機器表1 (改修後)		SCALE	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
		DRAWING NO. M-2	

工事凡例	
——	今回施工工事を示す
- - -	既設工事を示す
▲	既設冷媒管接続箇所を示す
●	既設ドレン管接続箇所を示す
★	既設ダクト接続箇所を示す
◎	リモコンスイッチ接続箇所を示す
配管及びダクトのルート・サイズは参考とする。 必ず現場調査を行い施工を行う事。	

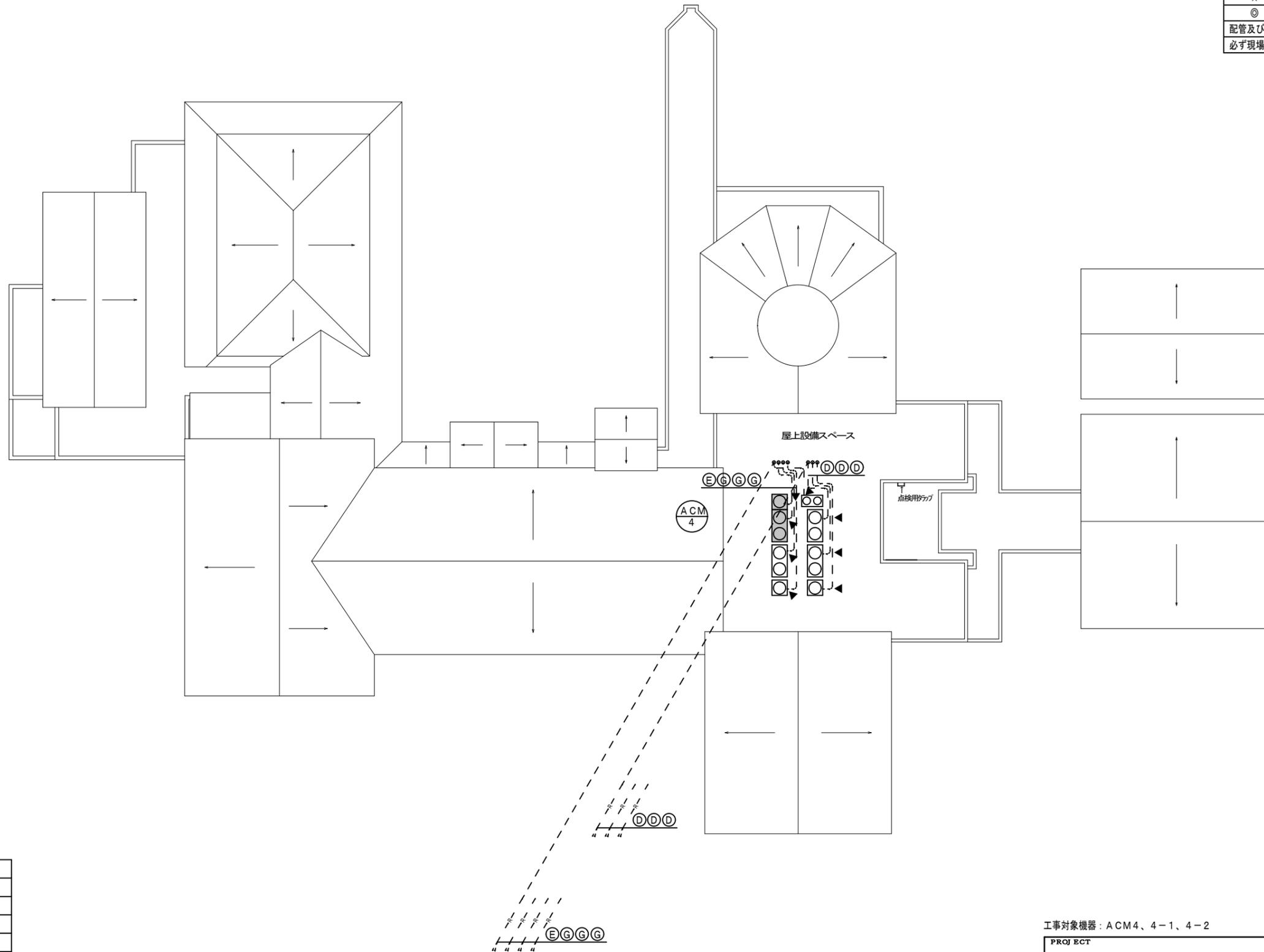


記号	液管	ガス管(φ)
Ⓐ	6.4	12.7
Ⓑ	9.5	15.9
Ⓒ	9.5	19.1
Ⓓ	12.7	25.4
Ⓔ	15.9	28.6
Ⓕ	15.9	31.8
Ⓖ	19.1	38.1
Ⓗ	6.4	9.5

工事対象機器：ACM4、4-1、4-2

PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 機械設備 本館棟 2F 空調平面図(改修後)			SCALE 1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			..
			DRAWING NO. M-3

工事凡例	
——	今回施工工事を示す
- - -	既設工事を示す
▲	既設冷媒管接続箇所を示す
●	既設ドレン管接続箇所を示す
★	既設ダクト接続箇所を示す
◎	リモコンスイッチ接続箇所を示す
配管及びダクトのルート・サイズは参考とする。	
必ず現場調査を行い施工を行う事。	



記号	液管	ガス管(φ)
Ⓐ	6.4	12.7
Ⓑ	9.5	15.9
Ⓒ	9.5	19.1
Ⓓ	12.7	25.4
Ⓔ	15.9	28.6
Ⓕ	15.9	31.8
Ⓖ	19.1	38.1
Ⓗ	6.4	9.5

工事対象機器：ACM4、4-1、4-2

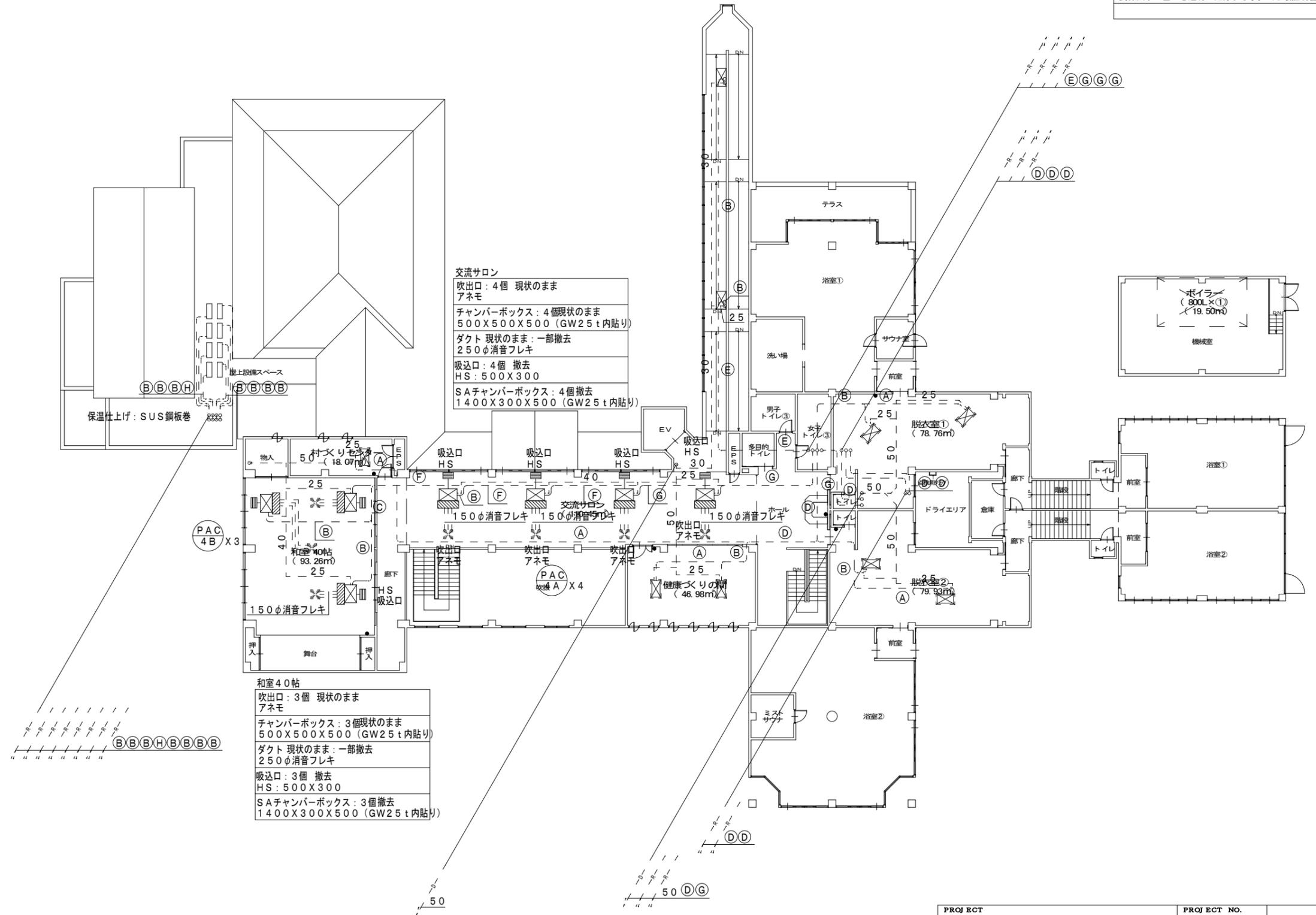
PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 機械設備 本館棟 RF 空調平面図(改修後)			SCALE 1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			..
			DRAWING NO. M-4

本館棟空調機器・器具類撤去

記号	名称	形式	台数	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	圧縮機 (kW)	送風機 (kW)	電源	開閉器・配線	フィルター仕様	防振	設置場所	コントロールスイッチ	附属品
<del>PAC-1</del>	<del>ビル用マルチエアコン</del>	<del>室外機</del>	<del>20馬力</del>	<del>1</del>	<del>56.0</del>	<del>63.0</del>	<del>15.0</del>	<del>0.68</del>	<del>3φ-200V</del>		<del>スプリングゴム併用</del>	<del>本館 屋上</del>		
<del>PAC-1A</del>	<del>" "</del>	<del>室内機</del>	<del>4方向吹出力セット型</del>	<del>2</del>	<del>14.0</del>			<del>1φ-200V</del>		<del>中性能</del>	<del>防振吊金具</del>	<del>" 1階 玄関・下足コーナー</del>	<del>集中コントローラーにて発停</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-1B</del>	<del>" "</del>	<del>ビルトイン</del>	<del>2</del>	<del>9.0</del>				<del>"</del>		<del>"</del>	<del>"</del>	<del>" " ふるさと情報発信</del>	<del>集中コントローラーにて発停</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-1C</del>	<del>" "</del>	<del>4方向吹出天井カセット型</del>	<del>2</del>	<del>5.6</del>				<del>"</del>				<del>" " 事務室</del>	<del>コントローラー×1</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-2</del>	<del>ビル用マルチエアコン</del>	<del>室外機</del>	<del>8馬力</del>	<del>1</del>	<del>22.4</del>	<del>25.0</del>	<del>5.7</del>	<del>0.34</del>	<del>3φ-200V</del>		<del>スプリングゴム併用</del>	<del>本館 屋上</del>		
<del>PAC-2A</del>	<del>" "</del>	<del>室内機</del>	<del>2方向吹出天井カセット型</del>	<del>4</del>	<del>2.8</del>			<del>1φ-200V</del>		<del>中性能</del>	<del>防振吊金具</del>	<del>" 1階 通路</del>	<del>コントローラー×1</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-2B</del>	<del>" "</del>	<del>"</del>	<del>4方向吹出天井カセット型</del>	<del>1</del>	<del>5.6</del>			<del>"</del>		<del>"</del>	<del>"</del>	<del>" " 休憩室-1</del>	<del>コントローラー×1</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-2C</del>	<del>" "</del>	<del>"</del>	<del>4方向吹出天井カセット型</del>	<del>1</del>	<del>3.6</del>			<del>"</del>		<del>"</del>	<del>"</del>	<del>" " 談話ロビー</del>	<del>コントローラー×1</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-2D</del>	<del>" "</del>	<del>"</del>	<del>壁掛け型</del>	<del>1</del>	<del>3.6</del>			<del>"</del>		<del>"</del>	<del>"</del>	<del>" " 休憩室-1</del>	<del>コントローラー×1</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-3</del>	<del>ビル用マルチエアコン</del>	<del>室外機</del>	<del>16馬力</del>	<del>1</del>	<del>45.0</del>	<del>50.0</del>	<del>12.5</del>	<del>0.58</del>	<del>3φ-200V</del>		<del>スプリングゴム併用</del>	<del>本館 屋上</del>		
<del>PAC-3A・B</del>	<del>" "</del>	<del>室内機</del>	<del>2方向吹出天井カセット型</del>	<del>4</del>	<del>7.1</del>			<del>1φ-200V</del>		<del>中性能</del>	<del>防振吊金具</del>	<del>" 2階 脱衣室①②</del>	<del>コントローラー×2</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-3C</del>	<del>" "</del>	<del>"</del>	<del>2方向吹出天井カセット型</del>	<del>2</del>	<del>5.6</del>			<del>"</del>		<del>"</del>	<del>"</del>	<del>" " 健康づくりの間</del>	<del>コントローラー×2</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-3D</del>	<del>" "</del>	<del>"</del>	<del>2方向吹出天井カセット型</del>	<del>1</del>	<del>3.6</del>			<del>"</del>		<del>"</del>	<del>"</del>	<del>" " 村づくりセンター</del>	<del>コントローラー×1</del>	<del>ドレンアップ</del>
▷ PAC-4	ビル用マルチエアコン	室外機	24馬力	1	67.0	78.0	18.0	---	3φ-200V		スプリングゴム併用	本館 屋上		
▷ PAC-4A	" "	室内機	ビルトイン	4	9.0			1φ-200V		中性能	防振吊金具	" 2階 交流サロン	集中コントローラーにて発停	ドレンアップ
▷ PAC-4B	" "	室内機	ビルトイン	3	11.2			"		"	防振吊金具	" " 和室	コントローラー×3	ドレンアップ
<del>PAC-5</del>	<del>ビル用マルチエアコン</del>	<del>室外機</del>	<del>12.5馬力</del>	<del>1</del>	<del>35.5</del>	<del>40.0</del>	<del>9.25</del>	<del>0.48</del>	<del>3φ-200V</del>		<del>スプリングゴム併用</del>	<del>本館 屋上</del>		
<del>PAC-5A</del>	<del>" "</del>	<del>室内機</del>	<del>ビルトイン</del>	<del>6</del>	<del>7.1</del>			<del>1φ-200V</del>		<del>中性能</del>	<del>防振吊金具</del>	<del>" 1階 大山田亭</del>	<del>コントローラー×3</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-6</del>	<del>ビル用マルチエアコン</del>	<del>室外機</del>	<del>10馬力</del>	<del>1</del>	<del>28.0</del>	<del>31.5</del>	<del>7.25</del>	<del>0.34</del>	<del>3φ-200V</del>			<del>本館 屋上</del>		
<del>PAC-6A</del>	<del>" "</del>	<del>室内機</del>	<del>4方向吹出天井カセット型</del>	<del>2</del>	<del>5.6</del>			<del>1φ-200V</del>		<del>中性能</del>		<del>" 1階 和室</del>	<del>コントローラー×3</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-6B</del>	<del>" "</del>	<del>室内機</del>	<del>ビルトイン</del>	<del>2</del>	<del>5.6</del>			<del>"</del>		<del>"</del>		<del>" " 板間</del>	<del>コントローラー×1</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-6C</del>	<del>" "</del>	<del>室内機</del>	<del>ビルトイン</del>	<del>2</del>	<del>2.8</del>									
<del>PAC-7</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>ツイン</del>	<del>天井吊り型</del>	<del>1</del>	<del>28.0</del>							<del>本館 屋上 (2階スロープ)</del>	<del>コントローラー×1</del>	<del>ドレンアップ</del>
<del>PAC-9</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>厨房用天井吊り型</del>	<del>1</del>	<del>12.5</del>	<del>14.0</del>	<del>3.75</del>	<del>0.12</del>	<del>3φ-200V</del>				<del>本館 屋上 (1階厨房)</del>	<del>コントローラー×1</del>	
<del>PAC-10</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>厨房用天井吊り型</del>	<del>1</del>	<del>12.5</del>	<del>14.0</del>	<del>3.75</del>	<del>0.12</del>	<del>3φ-200V</del>				<del>本館 屋上 (1階厨房)</del>	<del>コントローラー×1</del>	
<del>PAC-11</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>厨房用天井吊り型</del>	<del>1</del>	<del>12.5</del>	<del>14.0</del>	<del>3.75</del>	<del>0.12</del>	<del>3φ-200V</del>				<del>本館 屋上 (1階厨房)</del>	<del>コントローラー×1</del>	
<del>PAC-12</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>厨房用天井吊り型</del>	<del>1</del>	<del>7.1</del>	<del>8.0</del>	<del>2.20</del>	<del>0.06</del>	<del>3φ-200V</del>				<del>本館 屋上 (1階厨房)</del>	<del>コントローラー×1</del>	
<del>PAC-13</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>ツイン</del>	<del>厨房用天井吊り型</del>	<del>1</del>	<del>14.0</del>	<del>16.0</del>	<del>4.50</del>	<del>0.12</del>	<del>3φ-200V</del>			<del>本館 屋上 (1階厨房)</del>	<del>コントローラー×1</del>	
<del>PAC-14</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>ツイン</del>	<del>4方向吹出天井カセット型</del>	<del>1</del>	<del>12.5</del>	<del>14.0</del>	<del>3.75</del>	<del>0.12</del>	<del>3φ-200V</del>			<del>本館 屋上 (1階テーブル席)</del>	<del>コントローラー×1</del>	
<del>PAC-15</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>ビルトイン</del>	<del>1</del>	<del>12.5</del>	<del>14.0</del>	<del>3.75</del>	<del>0.12</del>	<del>3φ-200V</del>				<del>本館 屋上 (1階個室席)</del>	<del>コントローラー×1</del>	
<del>PAC-16</del>	<del>パッケージエアコン</del>	<del>壁掛形</del>	<del>1</del>	<del>3.6</del>	<del>4.0</del>	<del>0.70</del>	<del>0.04</del>	<del>3φ-200V</del>				<del>本館 屋上 (1階厨房事務室)</del>	<del>コントローラー×1</del>	

PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 機械設備 本館棟 現況空調機器表(撤去分)			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			..
			DRAWING NO. M-5

——	今回撤去、処分工事を示す
- - -	既設工事を示す
配管及びダクトのルート・サイズは参考とする。	
必ず現場調査を行い施工を行う事。	
既設冷暖房設備撤去に伴う、冷媒ガス回収・破壊は関係法令に基づき適切に処分する事。(破壊証明書提出)	



**交流サロン**  
 吹出口：4個 現状のまま  
 アネモ  
 チャンバーボックス：4個現状のまま  
 500X500X500 (GW25t内貼り)  
 ダクト 現状のまま：一部撤去  
 250φ消音フレキ  
 吸込口：4個 撤去  
 HS：500X300  
 SAチャンバーボックス：4個撤去  
 1400X300X500 (GW25t内貼り)

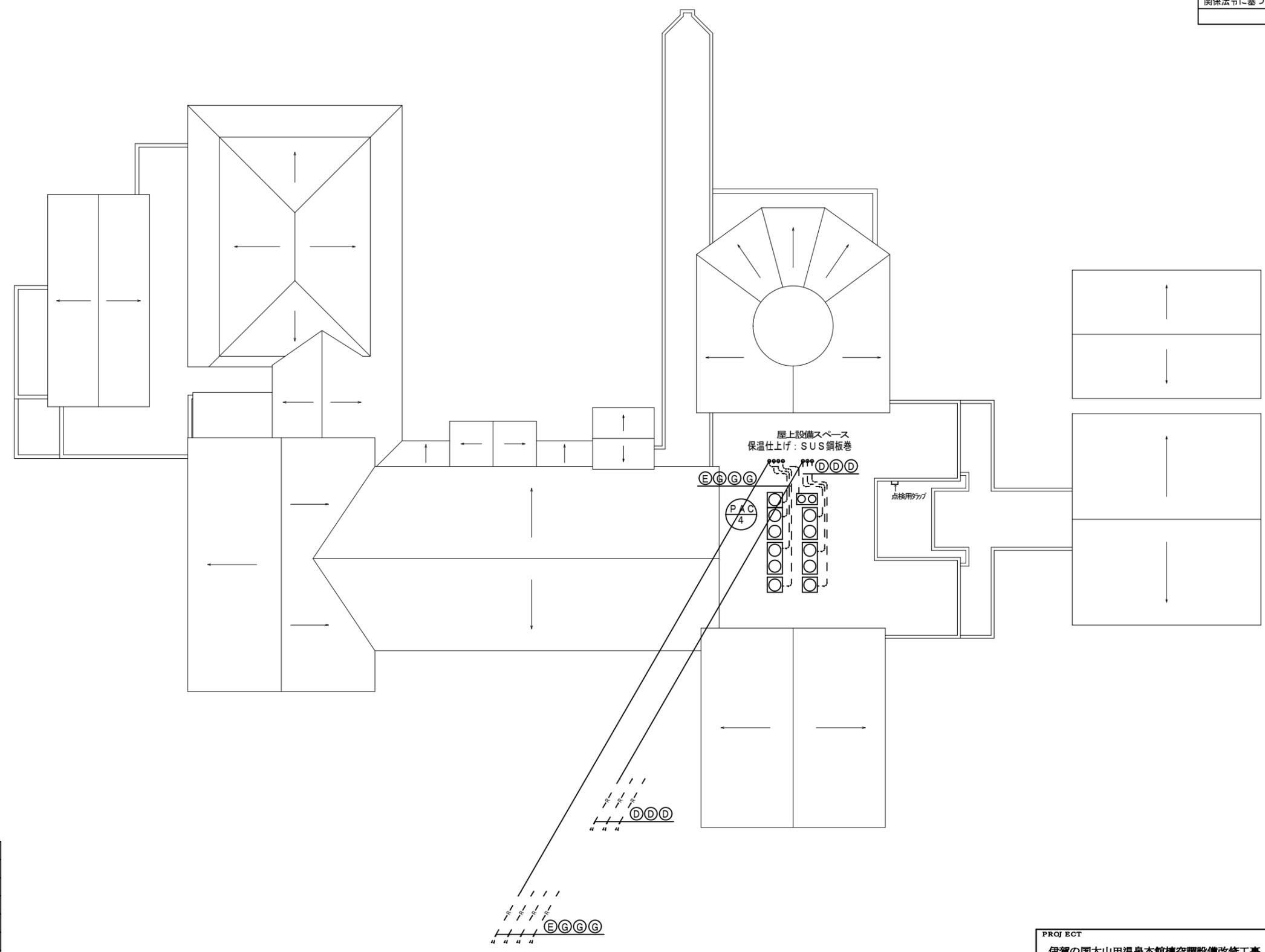
**和室40帖**  
 吹出口：3個 現状のまま  
 アネモ  
 チャンバーボックス：3個現状のまま  
 500X500X500 (GW25t内貼り)  
 ダクト 現状のまま：一部撤去  
 250φ消音フレキ  
 吸込口：3個 撤去  
 HS：500X300  
 SAチャンバーボックス：3個撤去  
 1400X300X500 (GW25t内貼り)

記号	液管	ガス管(φ)
Ⓐ	6.4	12.7
Ⓑ	9.5	15.9
Ⓒ	9.5	19.1
Ⓓ	12.7	25.4
Ⓔ	15.9	28.6
Ⓕ	15.9	31.8
Ⓖ	19.1	38.1
Ⓗ	6.4	9.5

PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 機械設備 本館棟2F 現状空調平面図(改修前)			SCALE 1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. M-6

工事凡例

———	今回撤去、処分工事を示す
- - -	既設工事を示す
配管及びダクトのルート・サイズは参考とする。	
必ず現場調査を行い施工を行う事。	
既設冷暖房設備撤去に伴う、冷媒ガス回収・破壊は関係法令に基づき適切に処分する事。(破壊証明書提出)	



記号	液管	ガス管 (φ)
Ⓐ	6.4	12.7
Ⓑ	9.5	15.9
Ⓒ	9.5	19.1
Ⓓ	12.7	25.4
Ⓔ	15.9	28.6
Ⓕ	15.9	31.8
Ⓖ	19.1	38.1
Ⓗ	6.4	9.5

PROJECT 伊賀の国大山田温泉本館棟空調設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 機械設備 本館棟RF 現況空調平面図(改修前)			SCALE 1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			..
			DRAWING NO. M-7